

2021. 04. 22

2021年3月卒マイナビ進学メンバー対象

# 高校生の進路意識と進路選択 に関するアンケート調査

調査報告書



Copyright(c) Mynavi Corporation.2021 all rights reserved

## 調査概要

## 【1】進学先や進学候補学校との接触

## ① 学校選びについて

志望校選びのポイント	5
学校選びの際の候補校数と受験した学校数	6

## ② 進学先の学校について

その学校を進学先として選んだ理由	8
進学先の学部・学科の分野系統（大学・短期大学・専門学校）	9
学部学科選びの理由	10
進学する学校を知った時期（月別/累計）	11
進学する学校へ資料請求をした時期（月別/累計）	13
進学する学校のオープンキャンパス・体験入学へ参加した時期（月別/累計）	15
進学する学校へ出願を決めた時期（月別/累計）	17

## ③ 進学先以外の進学候補学校について

学校を知った時期（初期認知）（学校種類別）	20
学校へ資料請求をした時期	23
オープンキャンパス・体験入学等のイベントに参加した割合	24
WEBを含むオープンキャンパス・体験入学等に参加した時期（学校種類別）	25
出願を決定した時期	28
Web出願をした割合	29

## 【2】高校生活を振り返って/今後の不安

## ① 進路選択について

進路選択の満足度	31
進学先の願書を取り寄せた手段	32

## ② 新型コロナウイルスの影響について

進路選択においてコロナウイルスの影響があったと感じるか	34
どのような影響があったと思うか	35
4月以降の不安	36

## 1. 調査目的

進路を考える高校生に対し、進学に関する幅広い情報提供の充実を図るため、  
高校生の意識や進路選択に関する状況などの把握をするために実施

## 2. 調査方法

メールおよびDMで調査告知を行い、Webフォームに回答

## 3. 調査回収期間

2021年3月18日（木）～3月31日（水）

## 4. 調査領域

全国

## 5. 調査対象者

2021年3月に卒業予定の高校3年生（マイナビ進学会員登録者）

## 6. 有効回答者数

2,630人（Web調査）

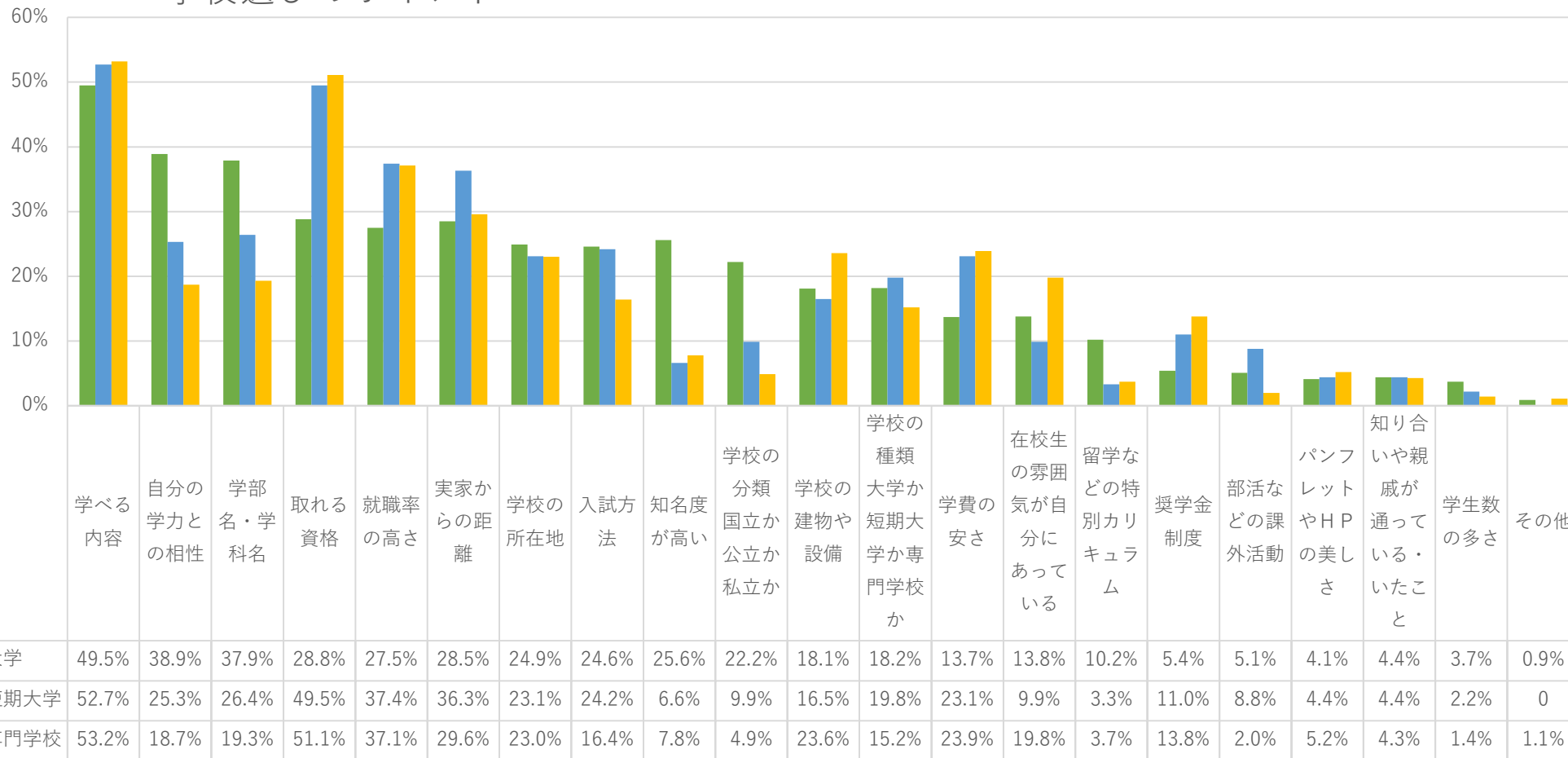
進路決定先：大学：1,881名 短期大学：91名 専門学校：348名 留学・海外進学：7名  
予備校・浪人生：172名 就職等進学以外の進路：131名

# 学校選びについて

# ■ 学校選びのポイント(複数選択、進学する生徒のみで集計)

進学する学校を選んだポイントを進学する学校種別に聞いたところ、大学・短期大学・専門学校それぞれの「学べる内容」が最も多く選ばれた。「取れる資格」は短期大学、専門学校に入学予定の生徒から多く選ばれ、進学予定学校種類によって学校選択のポイントが異なることが改めて明らかになった。

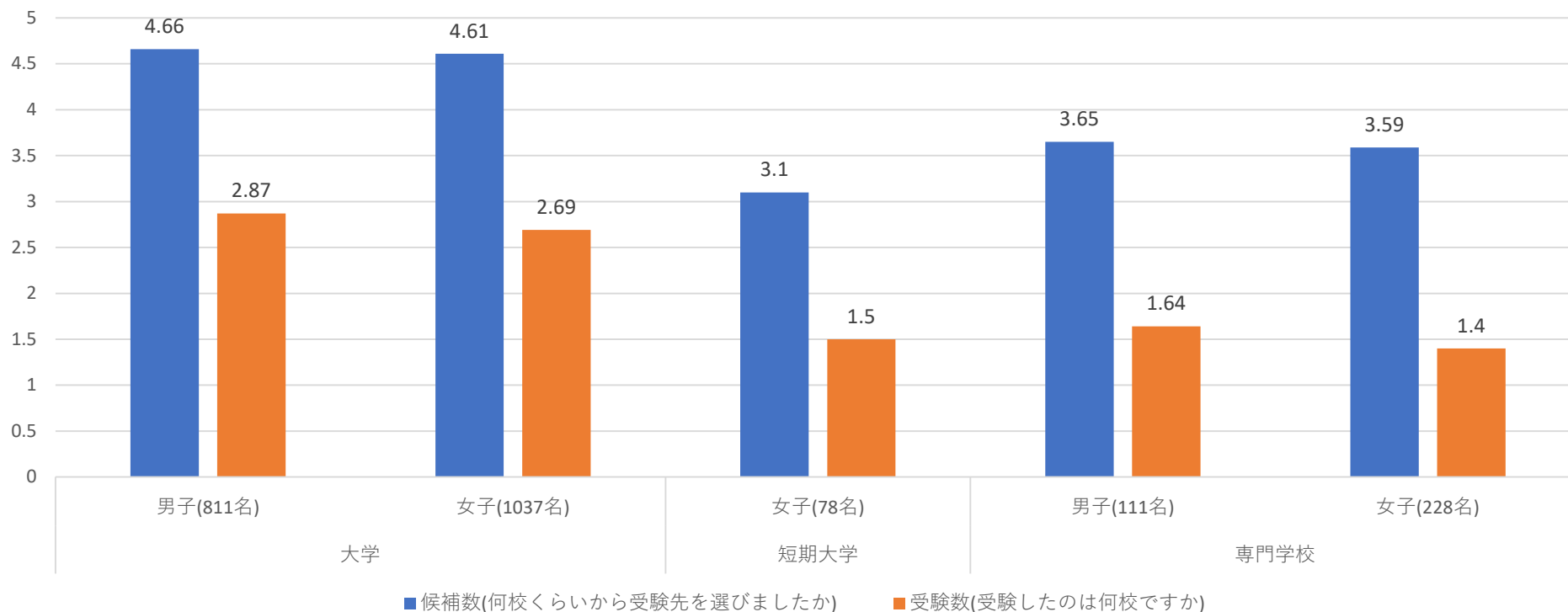
学校選びのポイント



## ■ 候補学校数と実際の受験数比較(進学予定学校種別で分類)

本年初めて、進学候補学校数と、受験数を尋ねたところ、以下のようになった。大学進学者は男女とも4.6校程度の候補から2~3校受験しており候補の6割程度受験していることがわかる。専門学校ではその割合は4割程度まで下がる。

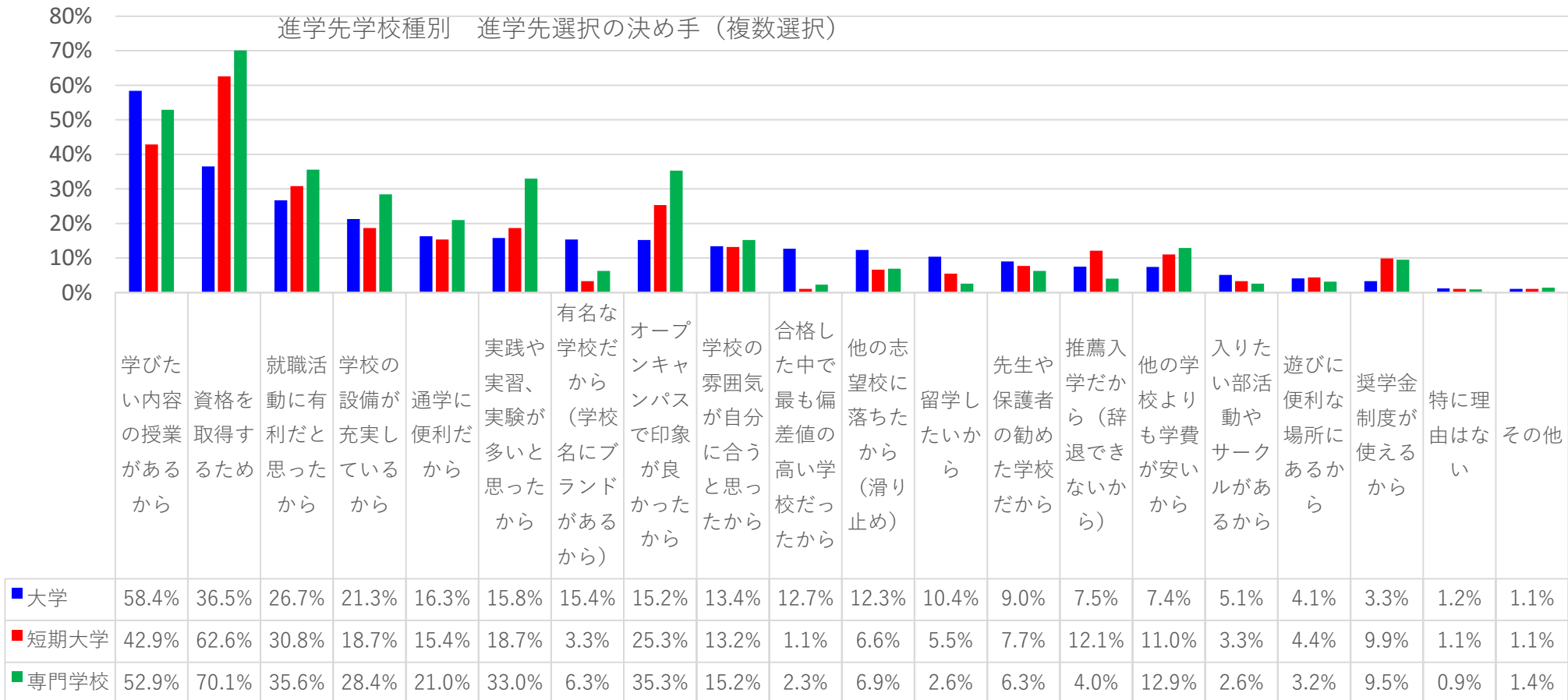
最終的な候補数と受験数の比較



※アンケート対象には性別男女以外、短大進学予定男子を含むが、各少数であるためグラフには非表示

# 進学先の学校について

進学先としてその学校を選んだ理由を学校種別に聞いた。大学入学生には「学びたい内容の授業があるから」が最も多く選ばれた。短期大学、専門学校生には「資格を取得するため」が多く選ばれている。特に専門学校入学生は「オープンキャンパスで印象が良かったから」を選ぶ生徒の割合が全体の3分の1と他の学校種別に比べて高かった。

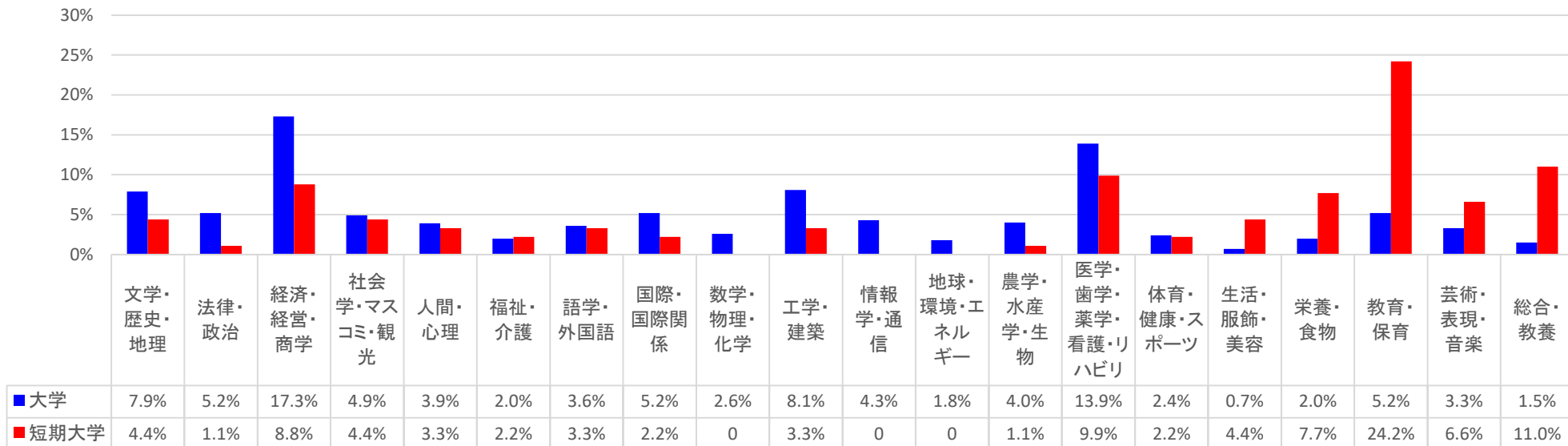


■ 大学 ■ 短期大学 ■ 専門学校

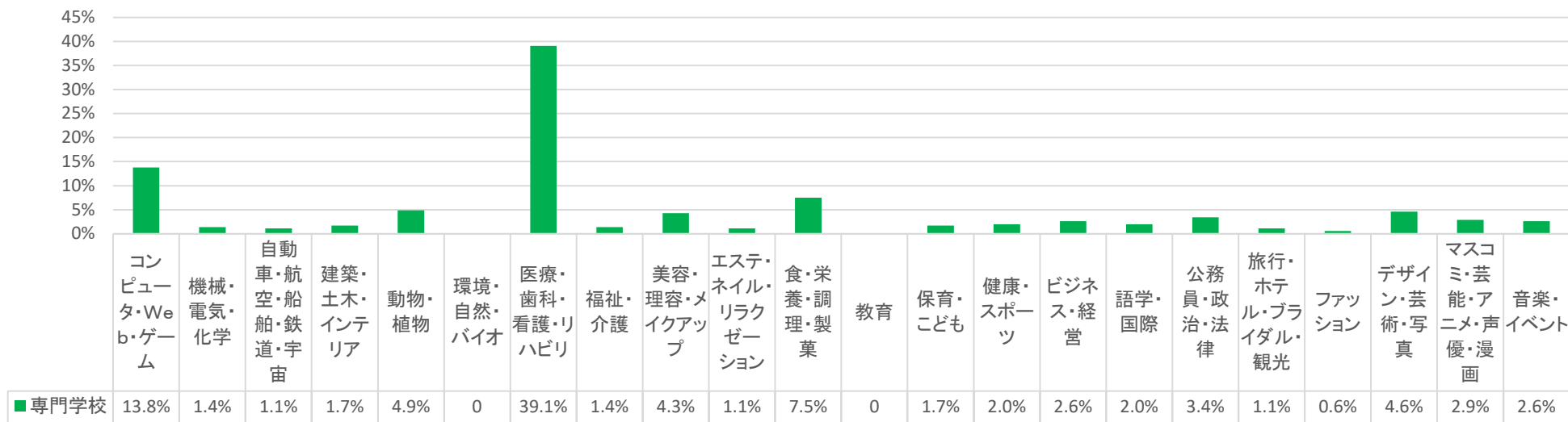


# ■進学先の学部・学科の分野系統 (大学・短期大学・専門学校)

進学先の学部・学科系統

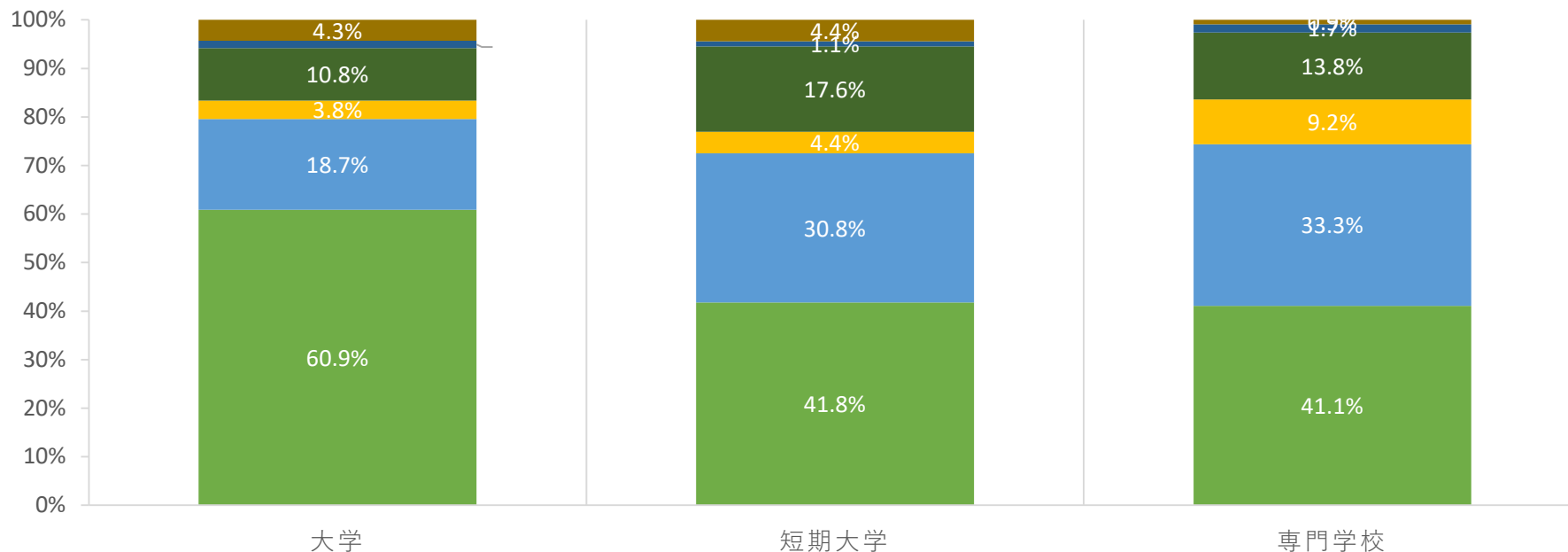


進学先の分野系統



学科や分野を選んだ理由としては、いずれの分類でも「その分野の勉強や得られる知識に興味があるから」が最も高い割合となったが、短期大学、専門学校では「資格・免許の取得が身につくから」「卒業後の就職に有利だと考えたから」などが大学よりも多く選ばれた。

あなたがその分野・学科を選んだ決め手(ひとつ選択)

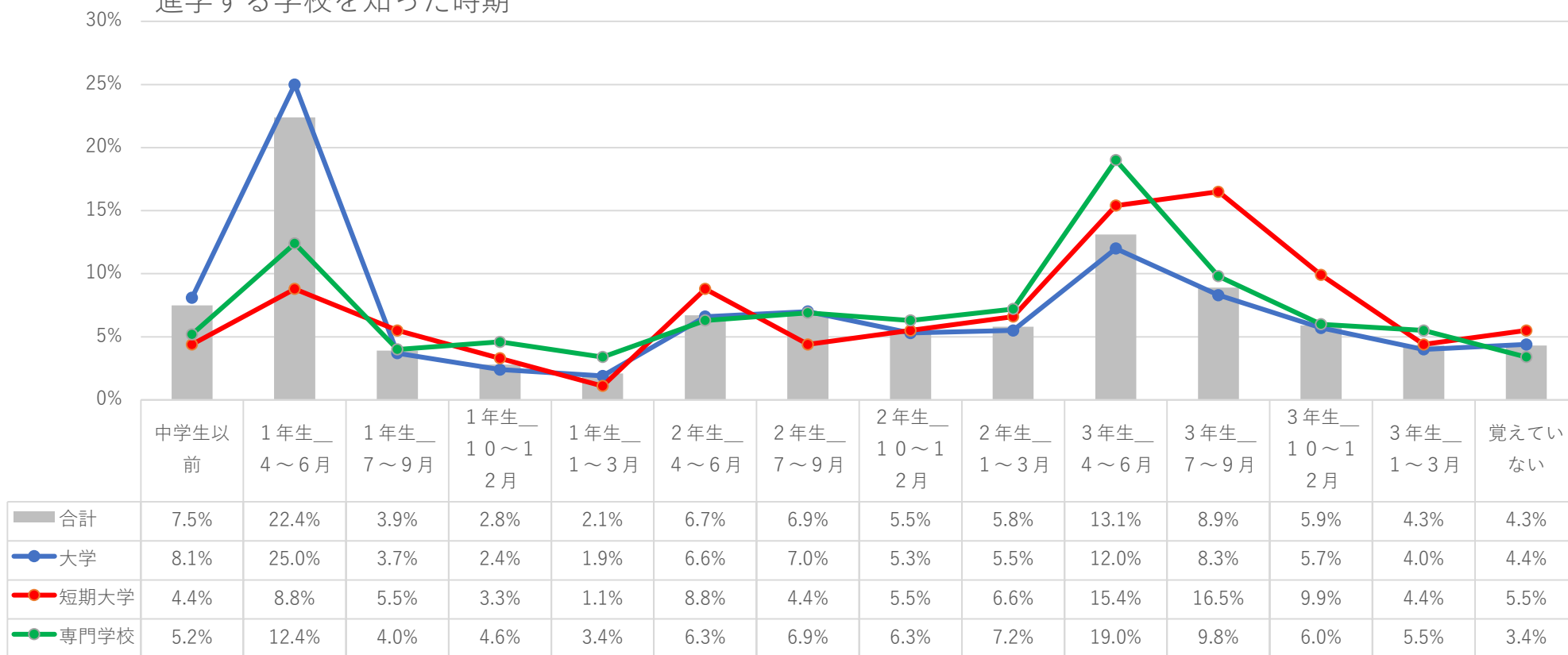


- 特に分野にこだわりはない (なんとなく、進学先学校に入れば分野は何でもよかった、など)
- その他
- 卒業後の就職に有利だと考えたから
- 具体的な技術が身につくから
- 資格・免許の取得ができるから
- その分野の勉強や得られる知識に興味があるから

# ■進学する学校を知った時期

進学する学校を知った時期について、進学先の学校の種類によって異なる結果が得られた。  
 大学を知った時期は、1年生の4-6月が最も高く(25.0%)、3年生の4-6月(12.0%)が続く。  
 短期大学を知った時期は、3年生の4-6月と7-9月がそれぞれ15.4%、16.5%と高い。  
 専門学校を知った時期は、3年生の4-6月が最も高い(19.0%)。

進学する学校を知った時期



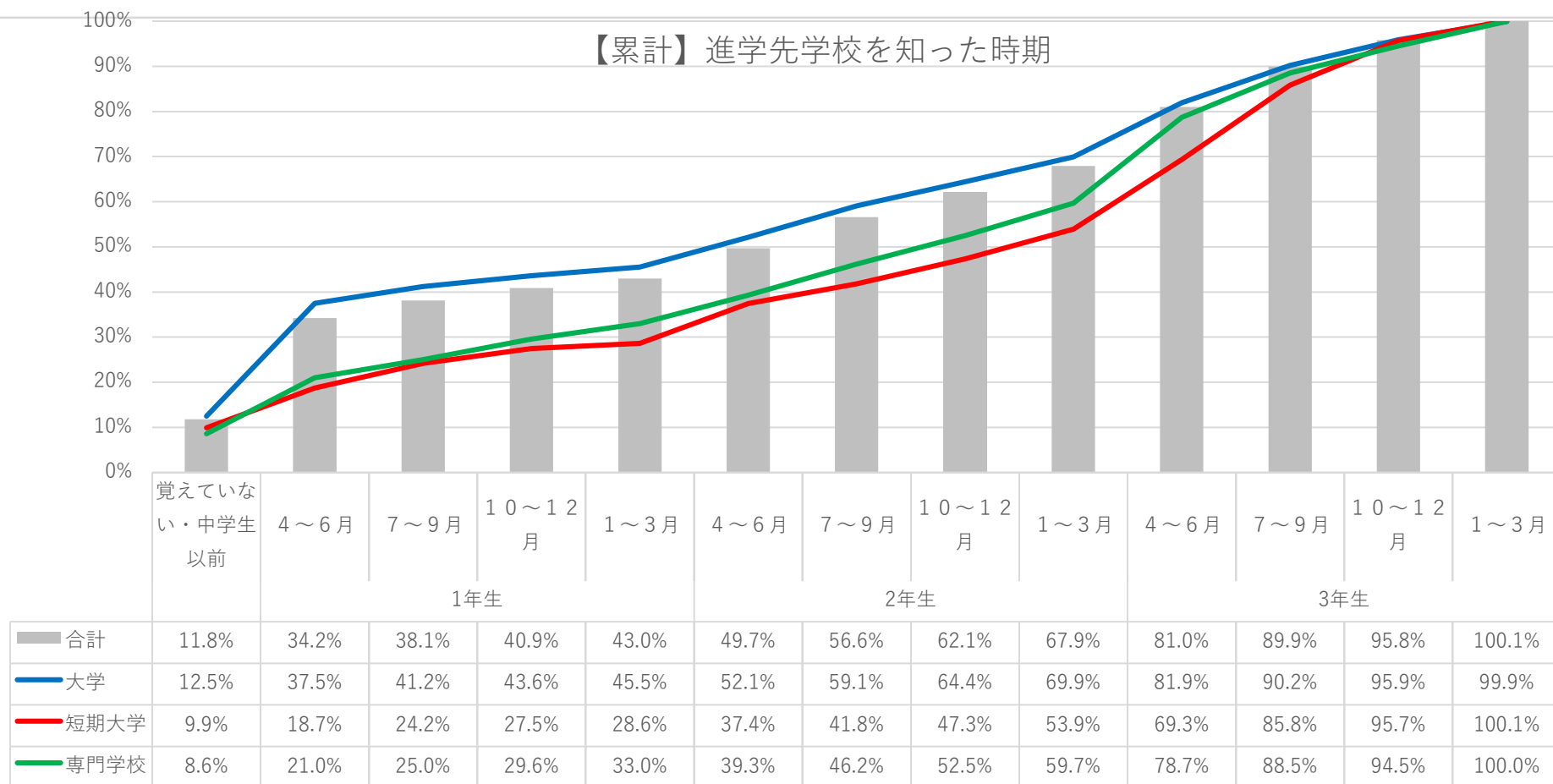
# ■進学する学校を知った時期（累計）

進学する学校を知った時期について累計で集計した結果、

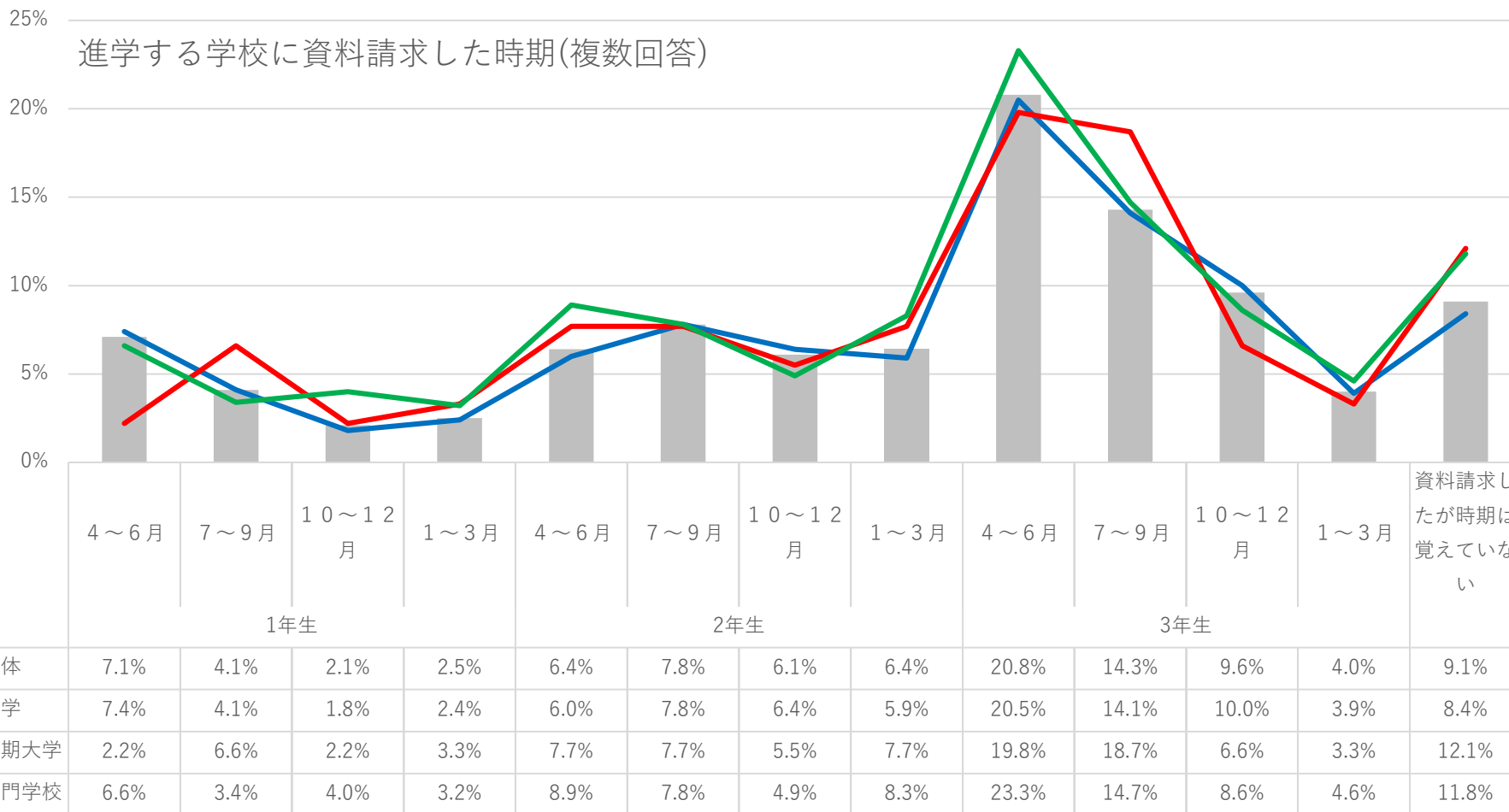
進学する学校を高校2年生の1-3月(高校2年生終了時)までに知っていた割合は全体で67.9%となった。

また、進学先の大学を知った時期は1年生の1-3月までに45.5%、2年生の1-3月までに69.9%という結果となった。

【累計】 進学先学校を知った時期

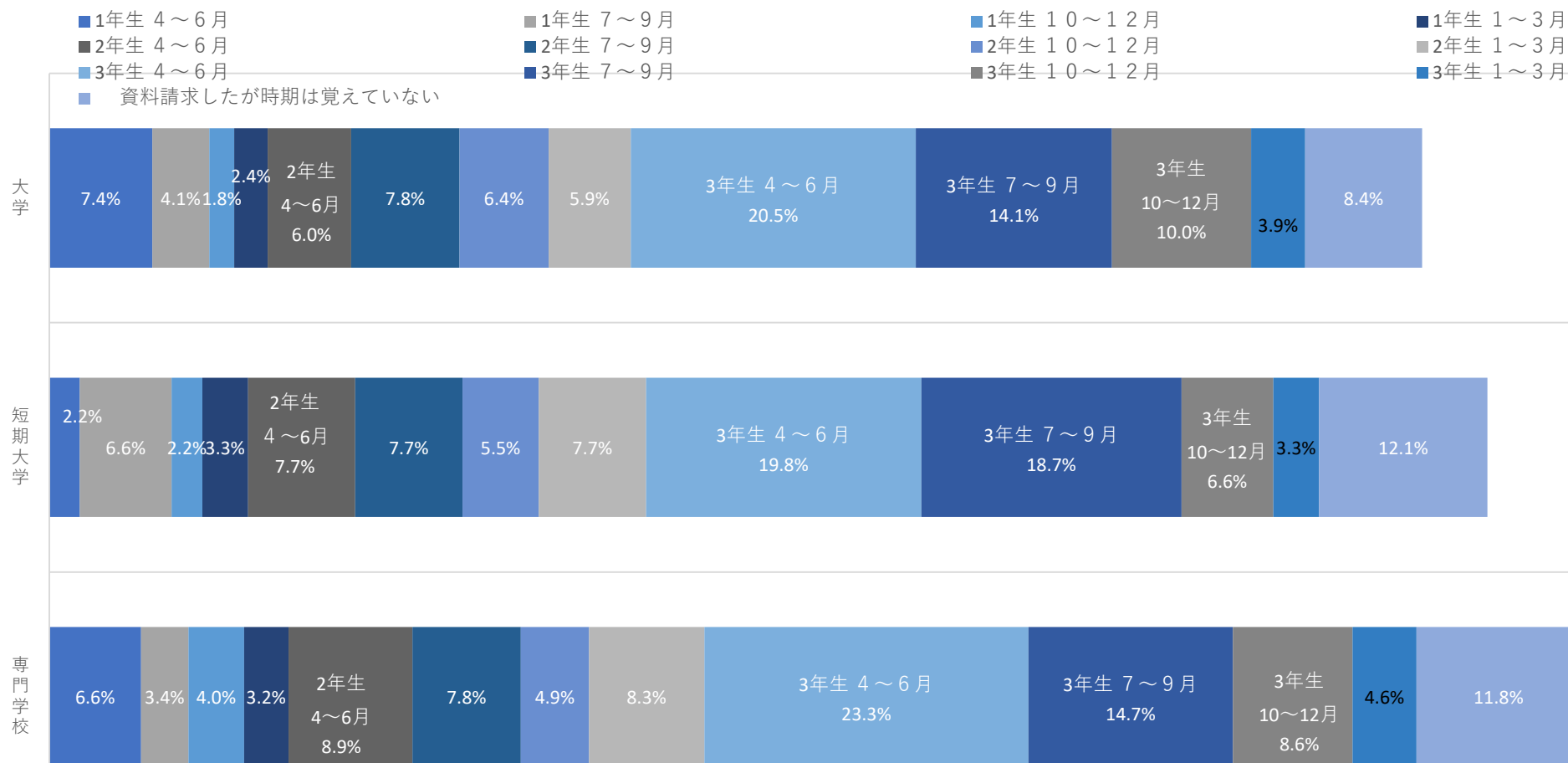


進学する学校の資料請求を行った時期について、複数回答で聞いたところ、  
進学先学校の種類を問わず、最も割合が高かったのは3年生の4-6月の時期となった。



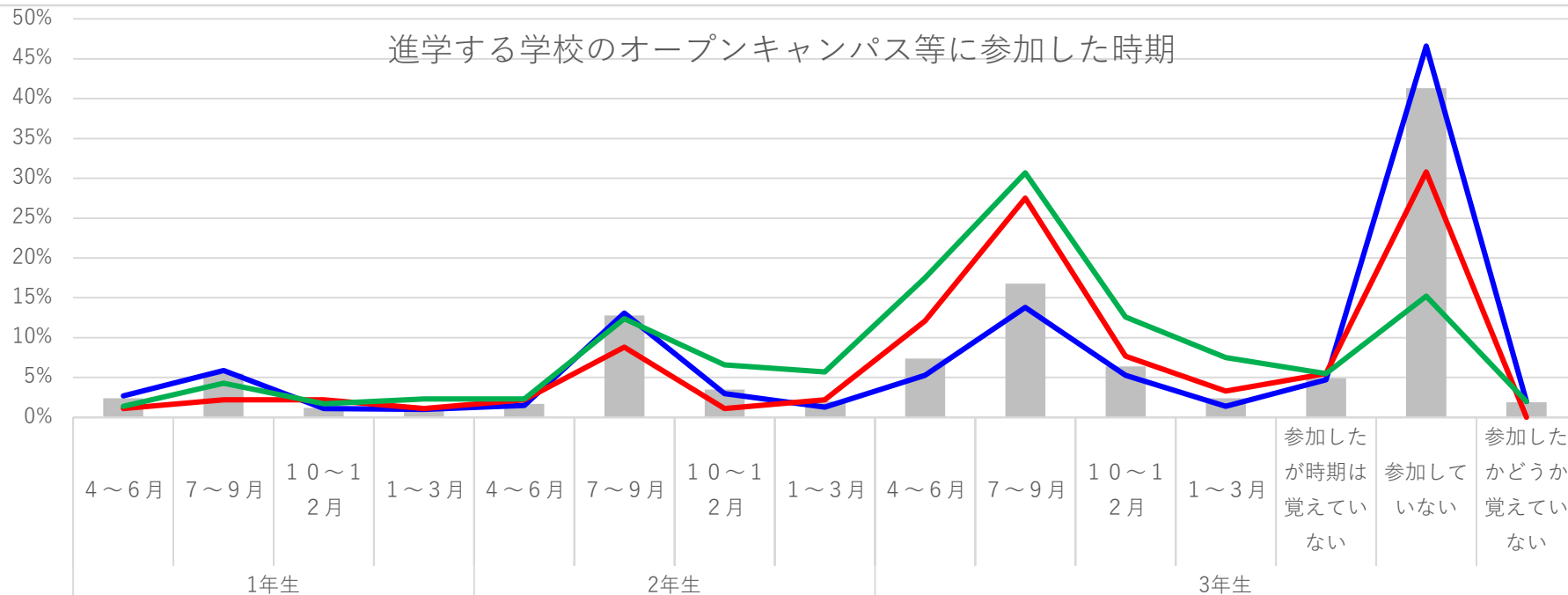
進学する学校へ資料請求をした時期についてグラフを積み上げて学校種別に比較すると、いずれの分類でも3年生の4月～9月にかけてが最も資料請求をした時期であることがわかる。専門学校のみ、他の分類に比べてやや早めに資料請求を行った生徒の割合が高い様子がグラフから見て取れる。

### 【別グラフ】 進学する学校に資料請求した時期



進学する学校のオープンキャンパス・体験入学(WEB開催を含む)等へ参加した時期は、夏季休暇となる7-9月がどの学年でも高く、進学先学校の種類を問わず、3年生の7-9月の割合が高い結果となった。新型コロナウイルス流行の影響を受け、参加した割合は減少したものの、時期については平年と変わらない推移が見られた。

進学する学校のオープンキャンパス等に参加した時期

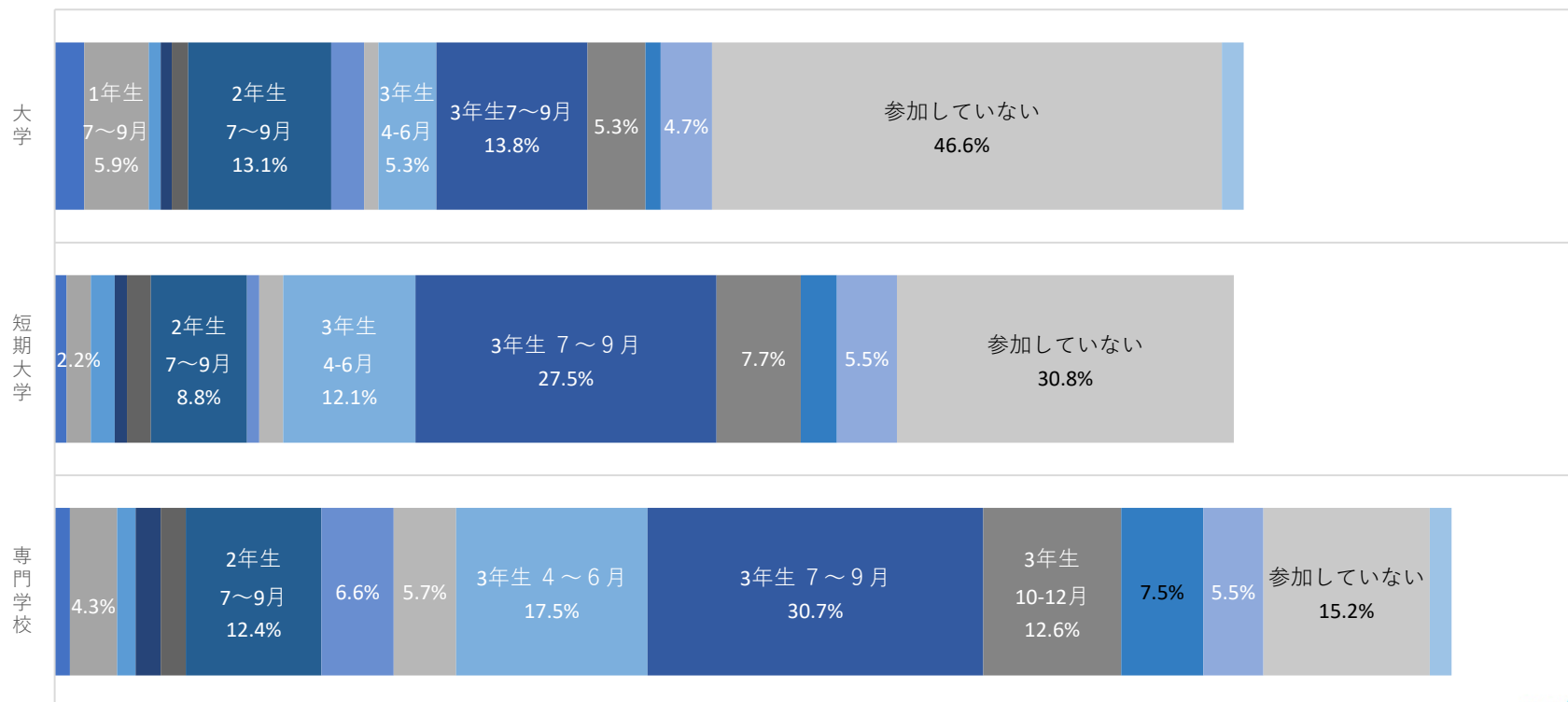


■ 全体	2.4%	5.5%	1.2%	1.2%	1.7%	12.8%	3.5%	2.0%	7.4%	16.8%	6.4%	2.4%	4.9%	41.3%	1.9%
■ 大学	2.7%	5.9%	1.1%	1.0%	1.5%	13.1%	3.0%	1.3%	5.3%	13.8%	5.3%	1.4%	4.7%	46.6%	2.0%
■ 短期大学	1.1%	2.2%	2.2%	1.1%	2.2%	8.8%	1.1%	2.2%	12.1%	27.5%	7.7%	3.3%	5.5%	30.8%	0
■ 専門学校	1.4%	4.3%	1.7%	2.3%	2.3%	12.4%	6.6%	5.7%	17.5%	30.7%	12.6%	7.5%	5.5%	15.2%	2.0%

グラフを積み上げにしてしてみると、明らかに専門学校入学予定者は他の2分類よりもオープンキャンパスに参加した割合が高い。大学入学予定者の半数近くは不参加だったと回答したが、専門学校入学者はその8割以上が体験授業などに参加している。入学の決め手として「オープンキャンパスの印象が良かったから」を選ぶ生徒が他分類に比べて多かった(P8)ことから、専門学校を決定する際にはオープンキャンパスが非常に重要な機会となっていることがわかる。

## 【別グラフ】進学する学校のオープンキャンパス等に参加した時期

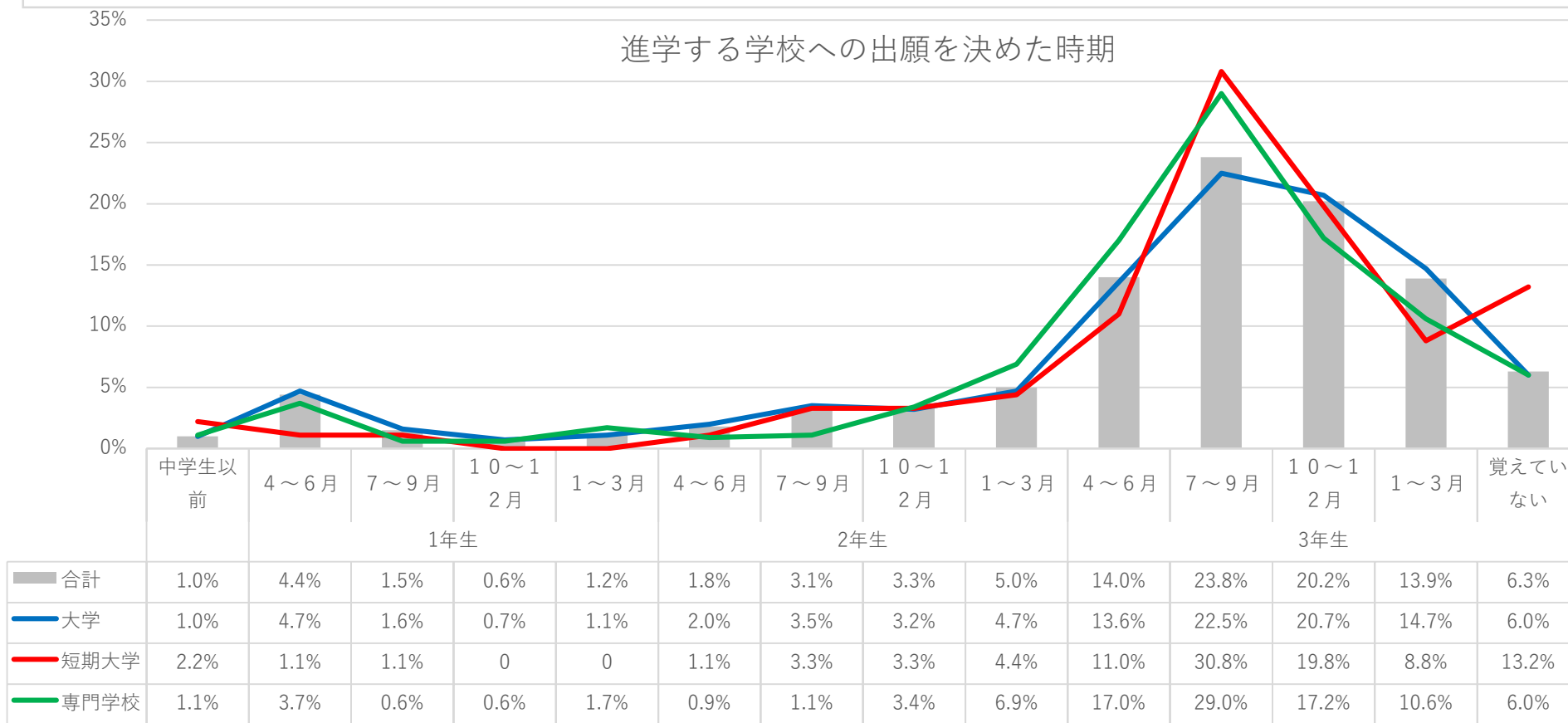
- 1年生 4～6月
- 1年生 7～9月
- 1年生 10～12月
- 1年生 1～3月
- 2年生 4～6月
- 2年生 7～9月
- 2年生 10～12月
- 2年生 1～3月
- 3年生 4～6月
- 3年生 7～9月
- 3年生 10～12月
- 3年生 1～3月
- 3年生 参加したが時期は覚えていない
- 3年生 参加していない
- 3年生 参加したかどうか覚えていない





進学する学校へ出願を決めた時期について、進学先学校の種類を問わず、3年生の4月以降(特に7-9月)に出願を決める割合が高くなっている。昨年、大学は3年生の10-12月が最も高かったが、やや前倒しになる結果となった。一方、短期大学・専門学校は前年同様3年生の7-9月がピークで変わらない。各大学でオープンキャンパスや文化祭が中止となる中、「これに行ってから(見てから)考える」といった決定の延長や、比較をする機会がなかったことも要因のひとつとして考えられる。

進学する学校への出願を決めた時期



# ■進学する学校へ出願を決めた時期 (累計)

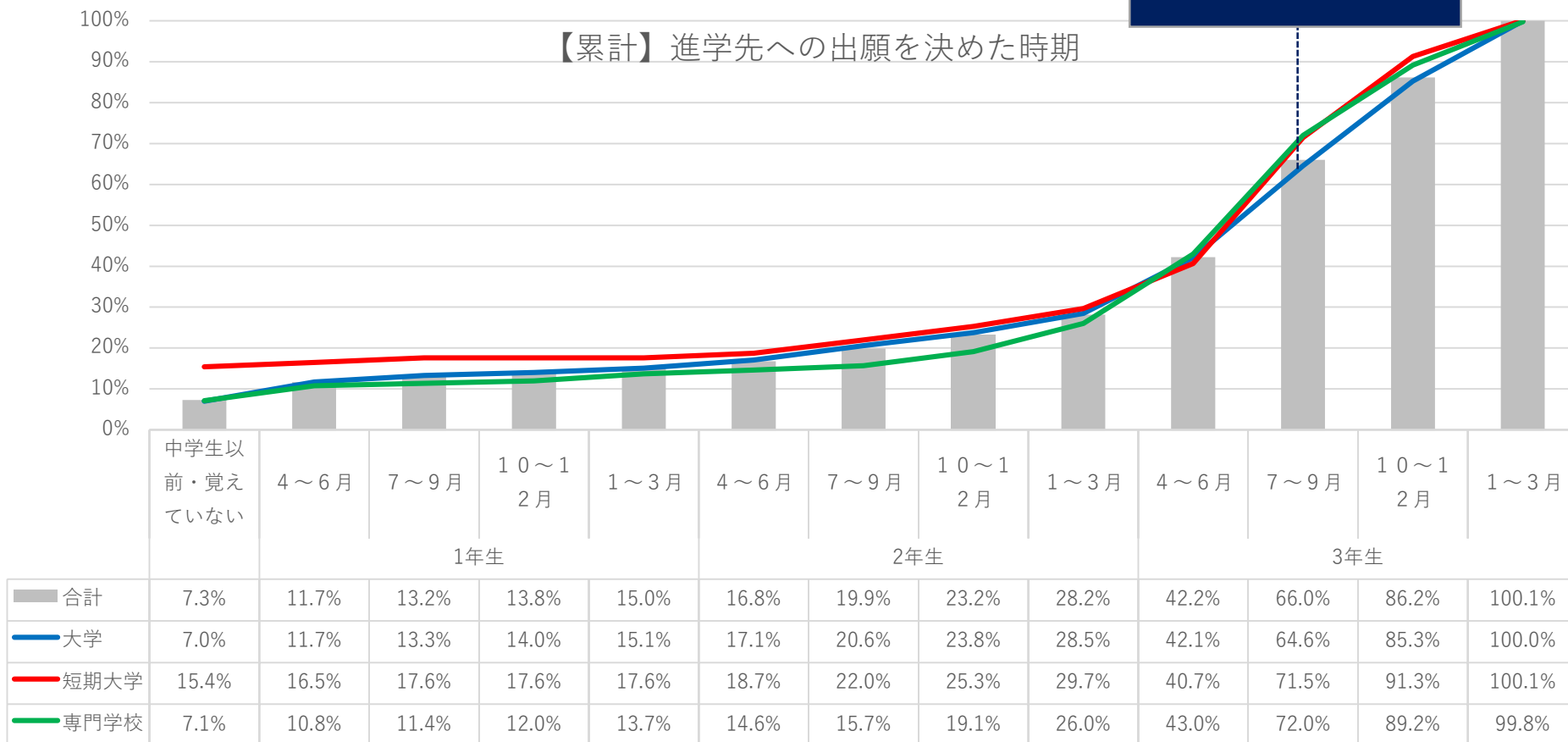
進学する学校へ出願を決めた時期について累計で集計した結果、

進学する学校の種類を問わず、3年生の7-9月までに3分の2程度が出願を決めている。

短期大学・専門学校への出願を決めた学生は、大学へ出願を決めた学生より早い時期に決めている割合が高い。

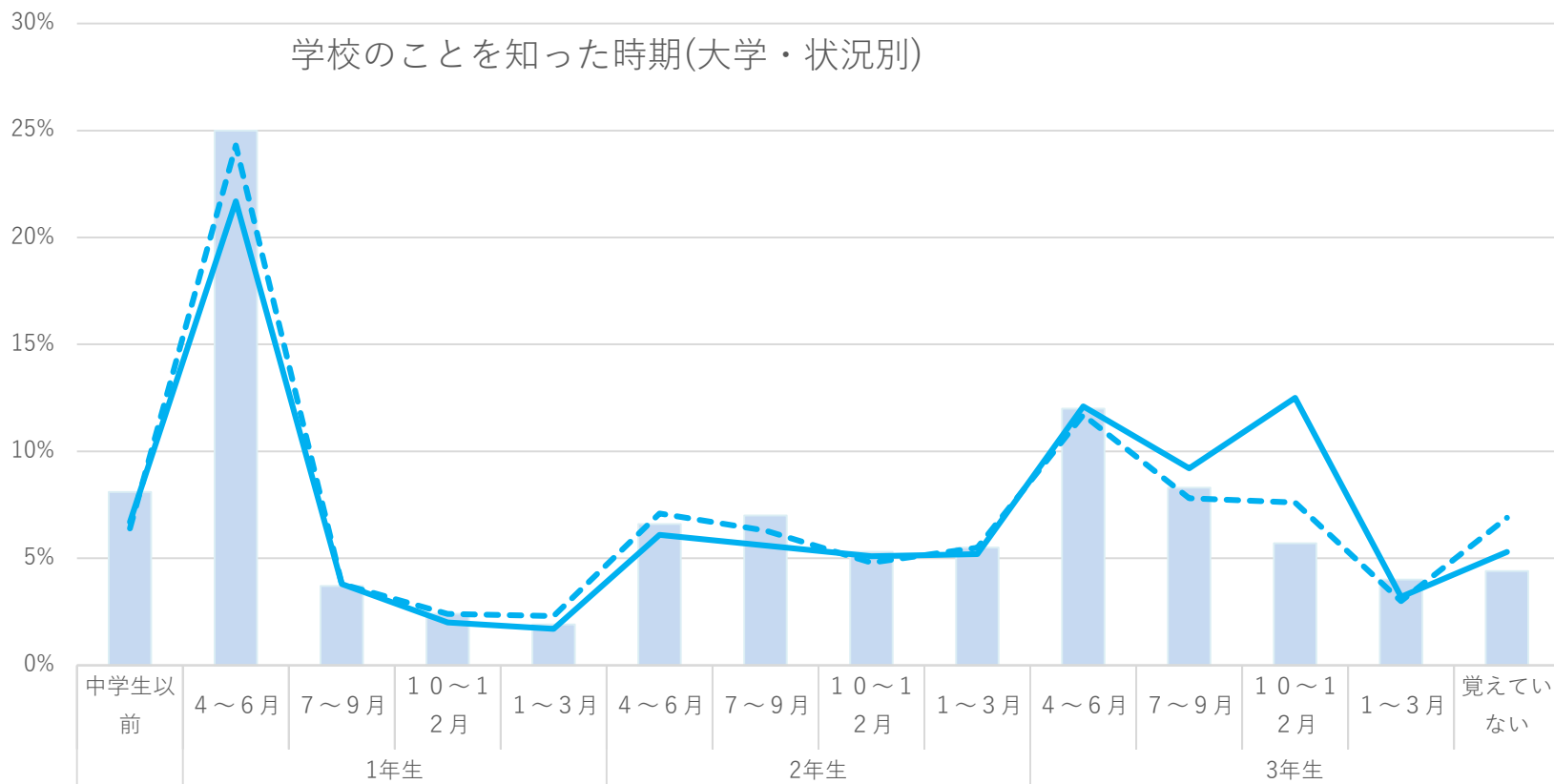
高3の夏頃までに  
進学する学校への  
出願を決めていた累計割合

【累計】進学先への出願を決めた時期

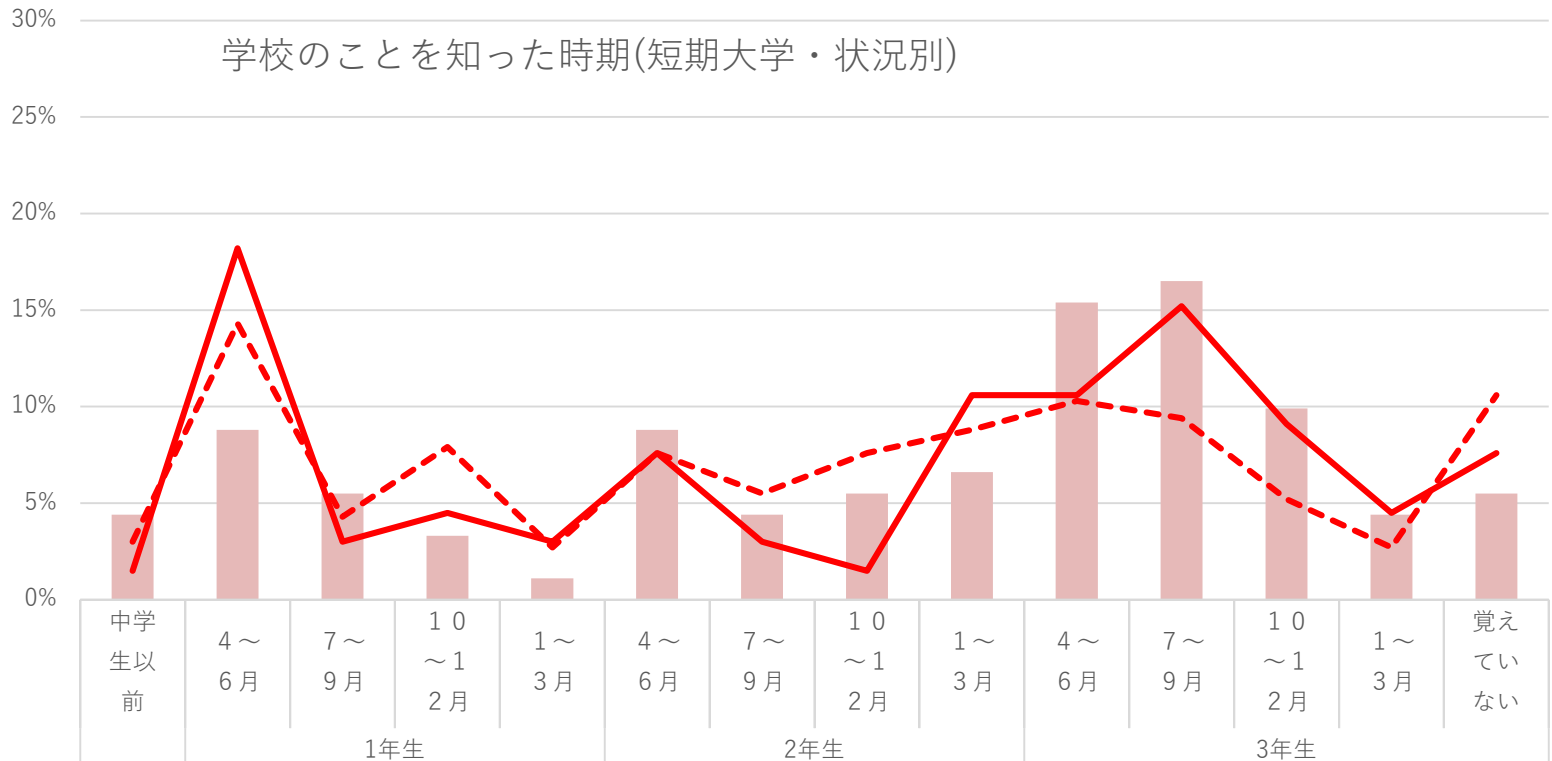


# 進学先以外の進学候補学校について (進学先校と合格非進学校の比較・ 学校種別)

高校生の出願状況および合格状況別に進学先以外の進学候補学校の初期認知時期を集計したところ、全体的に1年生の4-6月、3年生の4-6月の割合が高いことが分かる。合格後非進学校については、3年生の10-12月と、おそらく出願直前に知ったという回答も比較的多い。

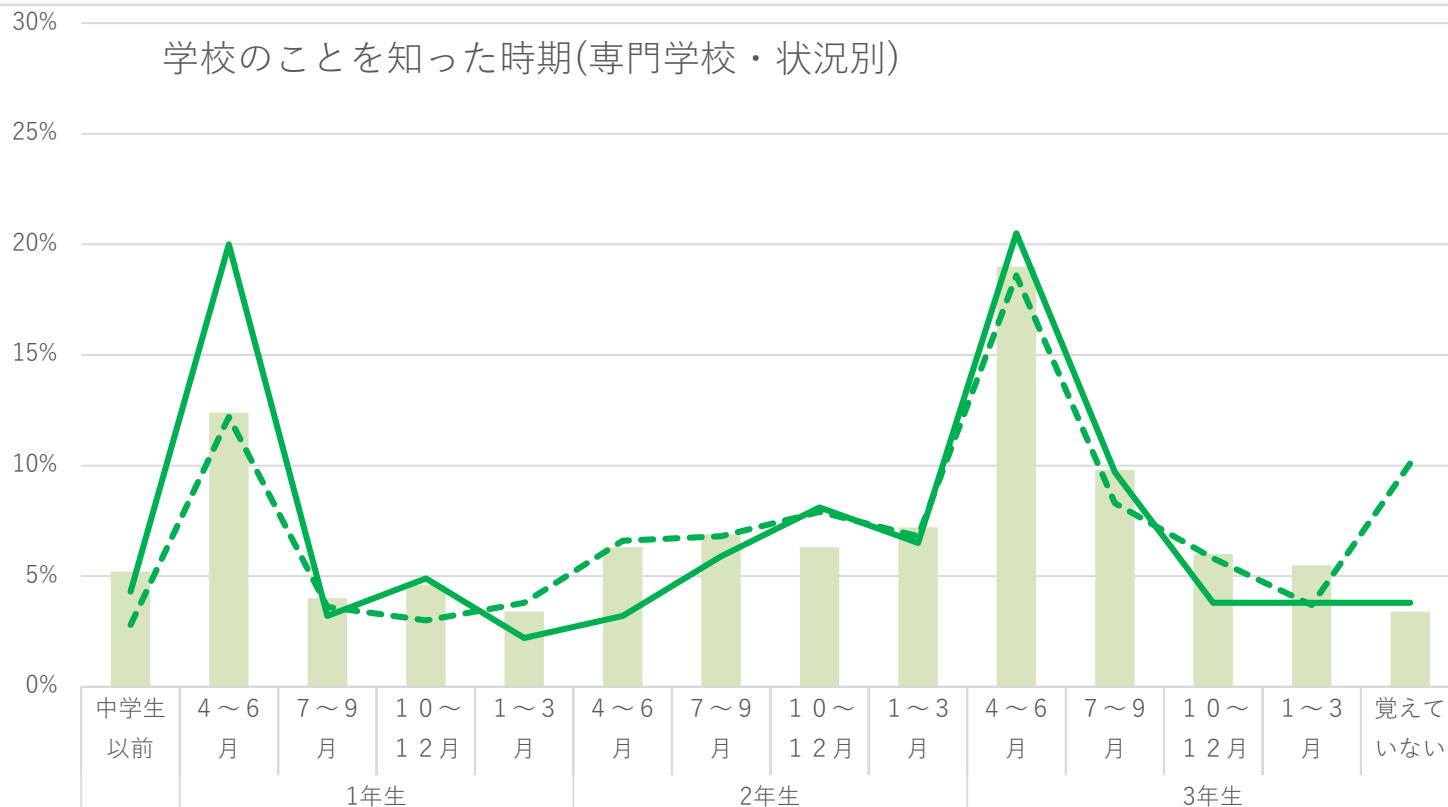


短期大学進学者が最もその学校に出会った時期は、3年生の夏(7月～9月)で、3年生春(4月～6月)が続く。大学進学者と比べて、高校生活の中で短大に出会っていることが推測できる。合格後非進学校については、1年生の4月～6月の割合が比較的高く、超早期に認知があることが必ずしも入学に結び付いていないことが考えられる。



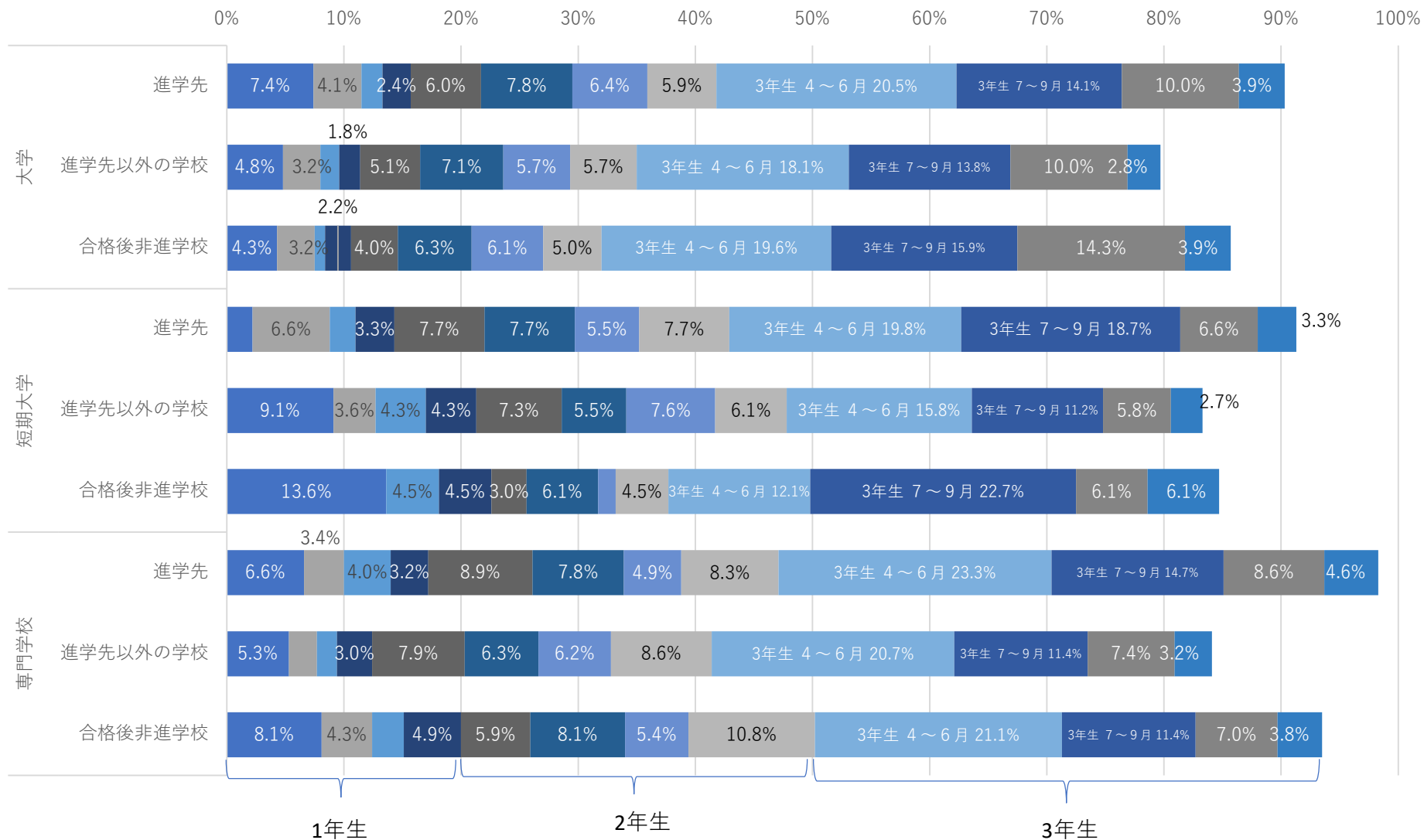
進学先 短期大学(91)	4.4%	8.8%	5.5%	3.3%	1.1%	8.8%	4.4%	5.5%	6.6%	15.4%	16.5%	9.9%	4.4%	5.5%
進学先以外の学校 短期大学(329)	3.0%	14.3%	4.3%	7.9%	2.7%	7.6%	5.5%	7.6%	8.8%	10.3%	9.4%	5.2%	2.7%	10.6%
合格後非進学校 短期大学(66)	1.5%	18.2%	3.0%	4.5%	3.0%	7.6%	3.0%	1.5%	10.6%	10.6%	15.2%	9.1%	4.5%	7.6%

専門学校入学予定者がその学校を知った時期として最も選ばれたのは3年生春(4月～6月)だった。専門学校についても、合格後非進学校は1年生の4月～6月で割合が他よりも高い。進路を考え始める3年生の初めの数か月にかけて、学校検討を行い、その結果入学に至っていることが考えられる。



進学先 専門学校(348)	5.2%	12.4%	4.0%	4.6%	3.4%	6.3%	6.9%	6.3%	7.2%	19.0%	9.8%	6.0%	5.5%	3.4%
進学先以外の学校 専門学校(760)	2.8%	12.2%	3.6%	3.0%	3.8%	6.6%	6.8%	7.9%	6.8%	18.6%	8.3%	5.8%	3.7%	10.1%
合格後非進学校 専門学校(185)	4.3%	20.0%	3.2%	4.9%	2.2%	3.2%	5.9%	8.1%	6.5%	20.5%	9.7%	3.8%	3.8%	3.8%

資料請求の時期(複数選択) ※時期の記載のあるもののみ

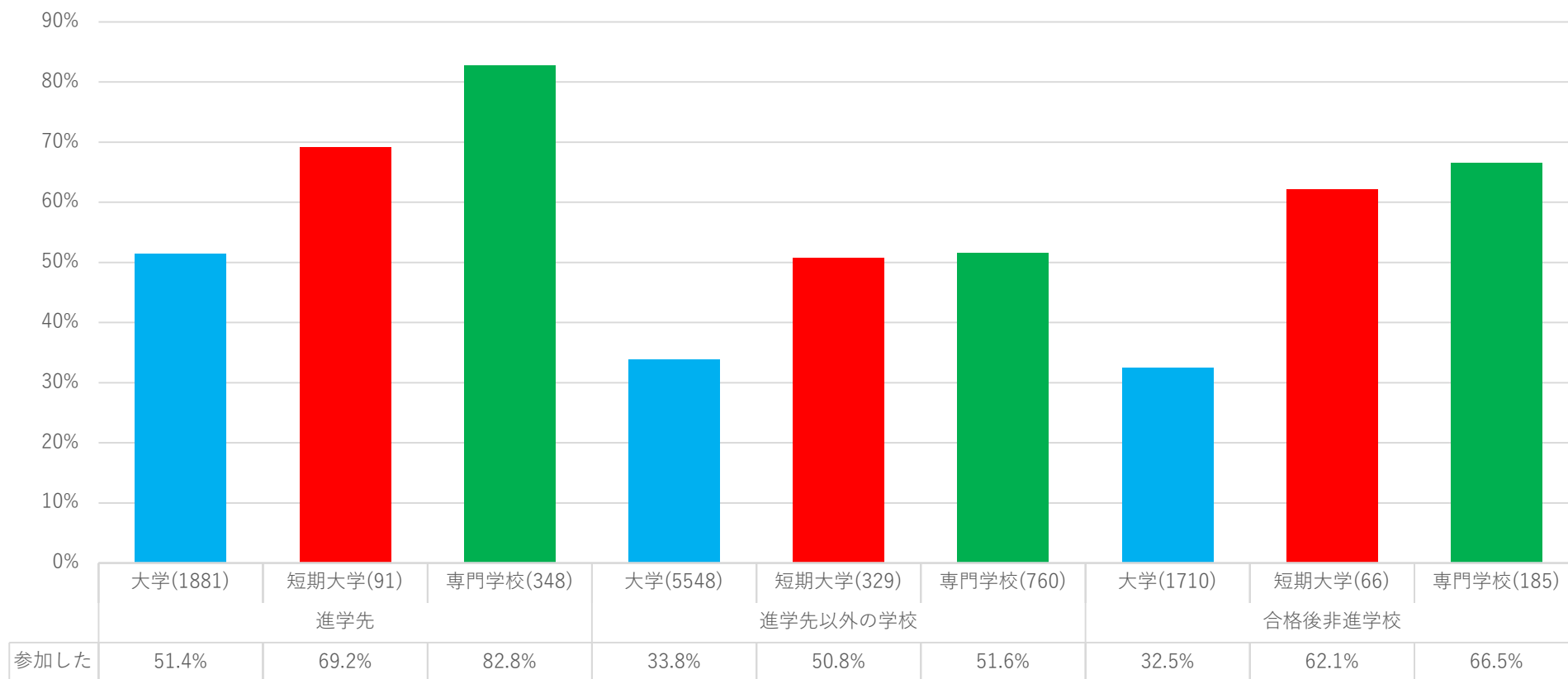


## ■ オープンキャンパス・体験入学等のイベントに参加した割合

オープンキャンパス・体験入学等のイベントに参加した割合を状況・学校種別に集計した。

どの学校種別でも、「進学校」のオープンキャンパスに参加した割合が最も高く特に専門学校では8割がオープンキャンパス・体験入学等のイベントに参加したことがわかる。

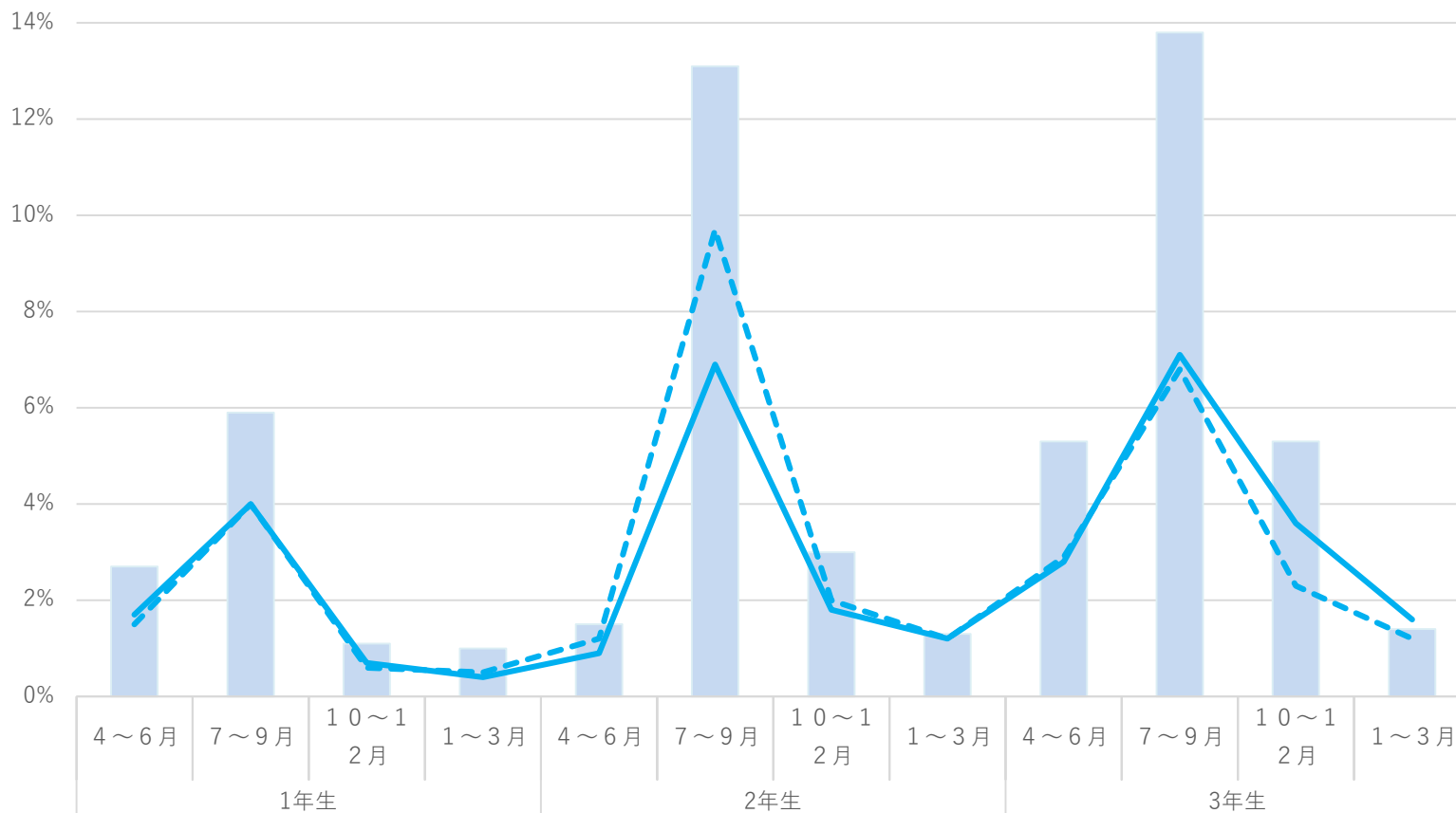
オープンキャンパス等のイベントに参加した割合(状況別)



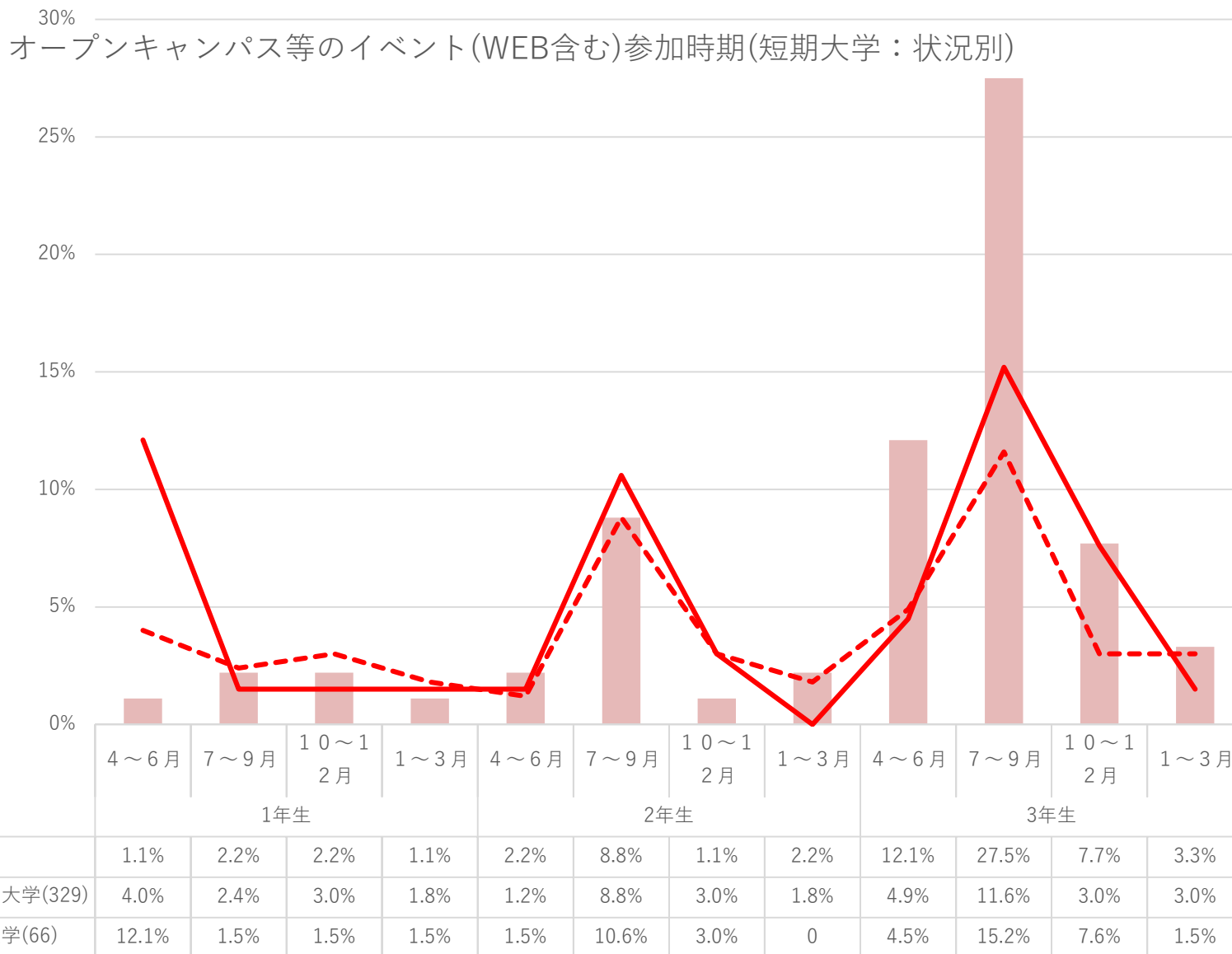
※「参加した」割合は全体から「参加していない」「参加したかわからない」を引いて算出した。



16%  
オープンキャンパス等のイベント(WEB含む)参加時期(大学：状況別)

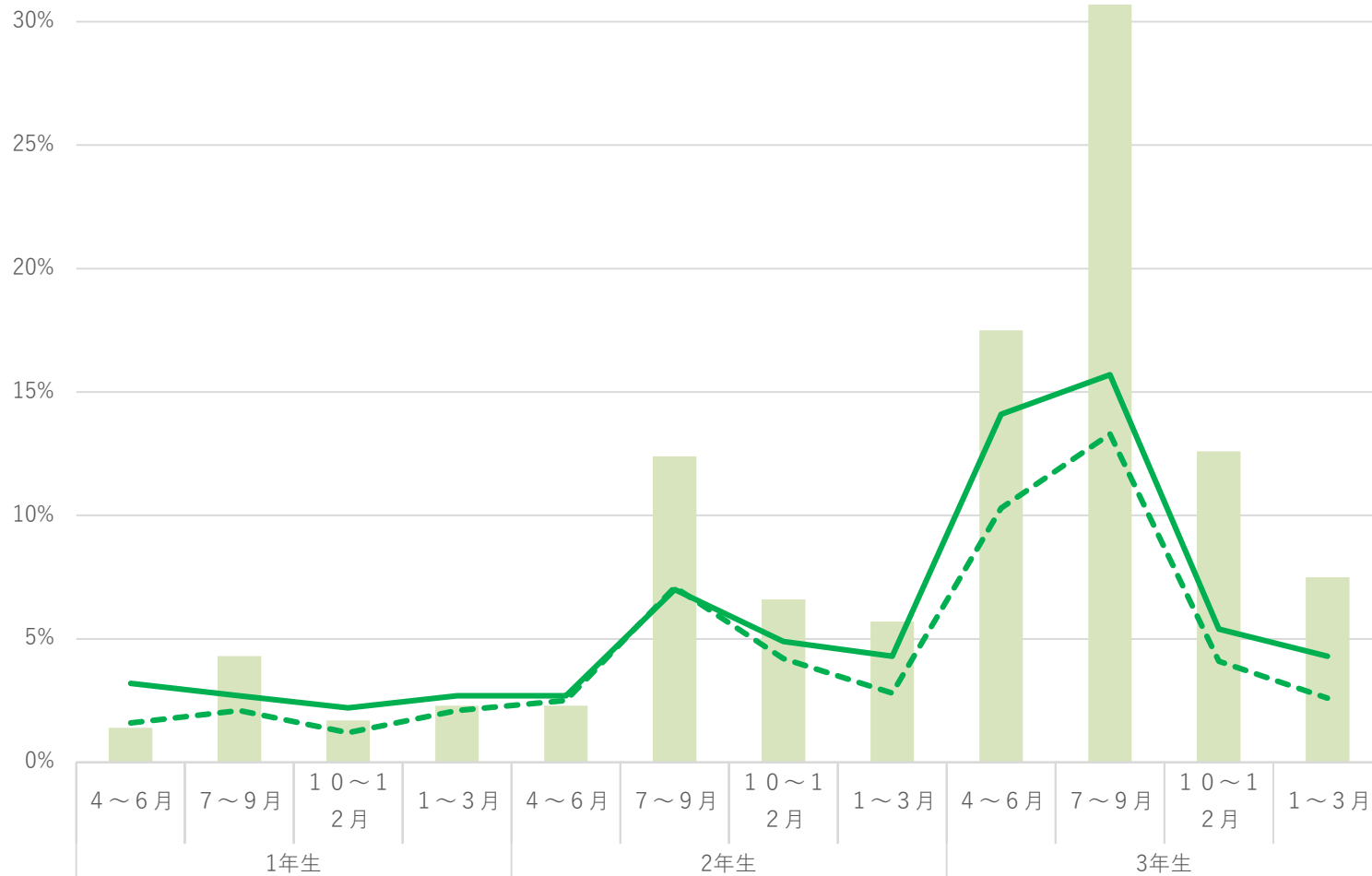


進学先 大学(1881)	2.7%	5.9%	1.1%	1.0%	1.5%	13.1%	3.0%	1.3%	5.3%	13.8%	5.3%	1.4%
進学先以外の学校 大学(5548)	1.5%	4.0%	0.6%	0.5%	1.2%	9.7%	2.0%	1.2%	2.9%	6.8%	2.3%	1.2%
合格後非進学校 大学(1710)	1.7%	4.0%	0.7%	0.4%	0.9%	6.9%	1.8%	1.2%	2.8%	7.1%	3.6%	1.6%



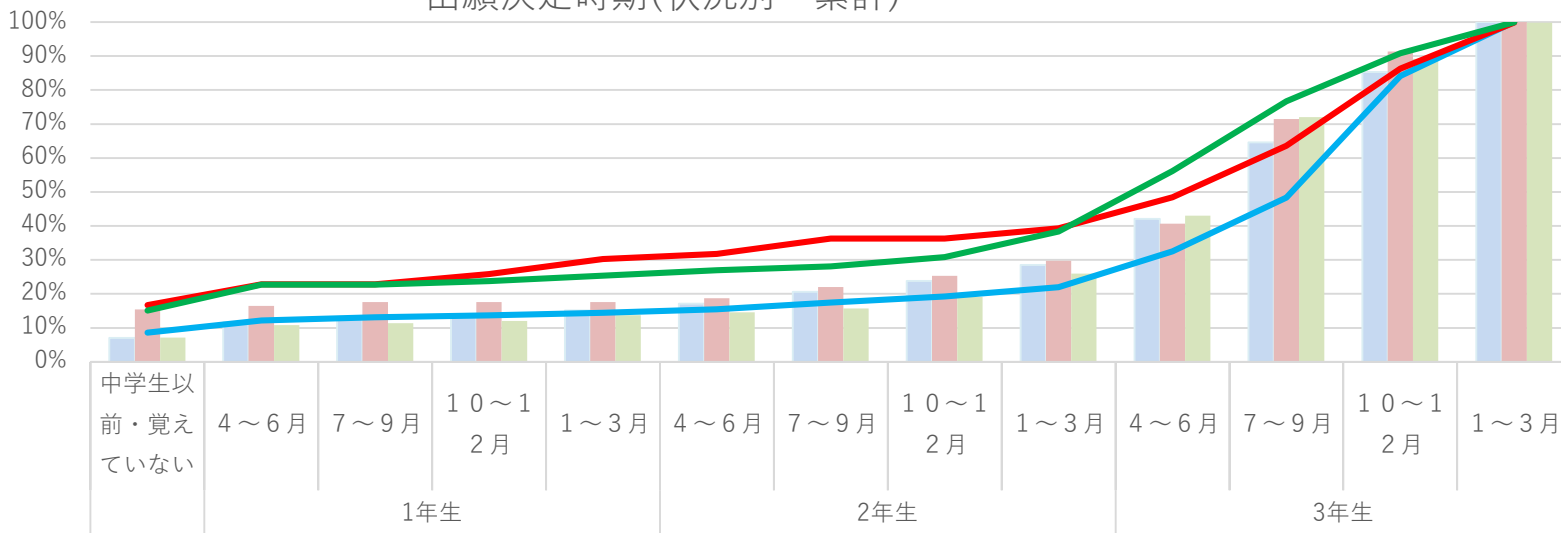
※分類中の「アクション」とは、資料請求またはイベント参加のことを指します。

35%  
オープンキャンパス等のイベント(WEB含む)参加時期(専門学校：状況別)



出願を決定した時期について累計グラフにしてみると、大学は進学校への出願決定が、合格後非進学校よりも早い。特に3年生7月～9月に差がある。反対に、短期大学や専門学校への出願検討は、1～2年生の時点で進学先よりも合格後非進学校への出願決定の割合が高く、早期から出願の検討をしていることが読み取れた。

出願決定時期(状況別・累計)



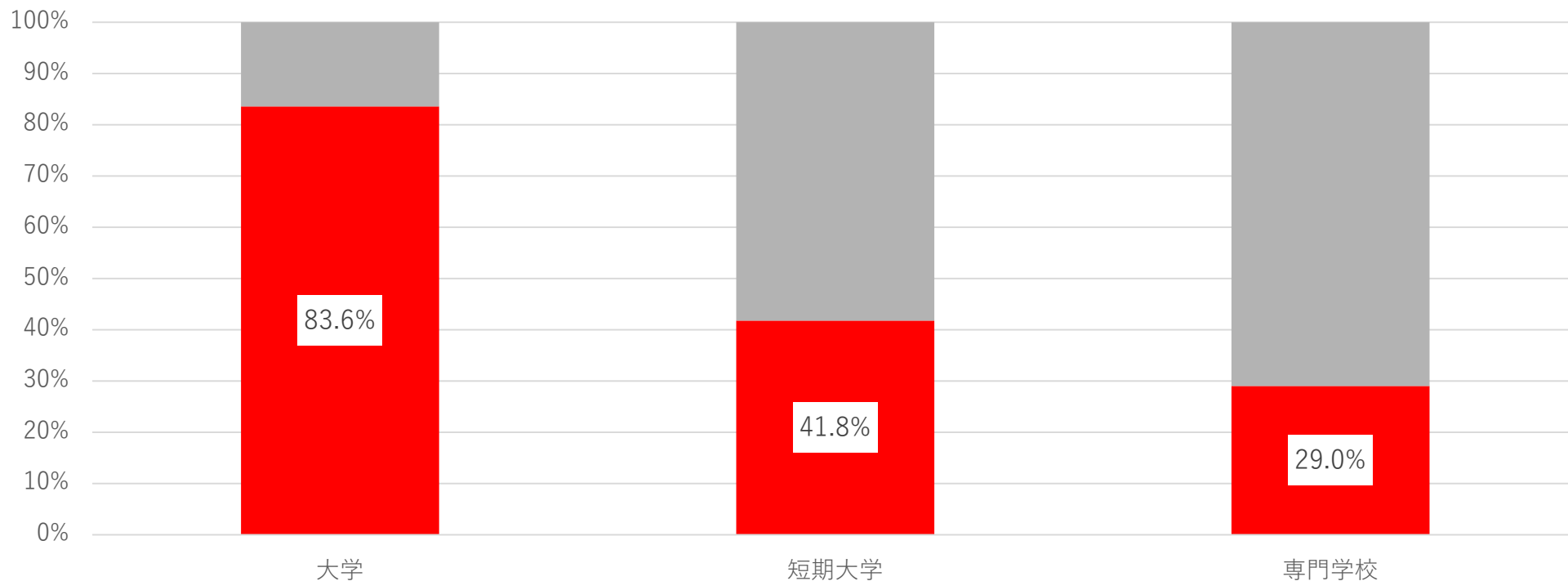
	中学生以前・覚えていない	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
	1年生				2年生				3年生				
進学先 大学(1881)	7.0%	11.7%	13.3%	14.0%	15.1%	17.1%	20.6%	23.8%	28.5%	42.1%	64.6%	85.3%	100.0%
進学先 短期大学(91)	15.4%	16.5%	17.6%	17.6%	17.6%	18.7%	22.0%	25.3%	29.7%	40.7%	71.5%	91.3%	100.1%
進学先 専門学校(348)	7.1%	10.8%	11.4%	12.0%	13.7%	14.6%	15.7%	19.1%	26.0%	43.0%	72.0%	89.2%	99.8%
合格後非進学校 大学(1710)	8.6%	12.2%	13.1%	13.7%	14.4%	15.5%	17.5%	19.2%	22.0%	32.5%	48.3%	84.1%	100.1%
合格後非進学校 短期大学(66)	16.7%	22.8%	22.8%	25.8%	30.3%	31.8%	36.3%	36.3%	39.3%	48.4%	63.6%	86.3%	99.9%
合格後非進学校 専門学校(185)	15.1%	22.7%	22.7%	23.8%	25.4%	27.0%	28.1%	30.8%	38.4%	56.2%	76.7%	90.8%	100.0%

※進学先以外の学校については「覚えていない」が多かったためグラフ表示しない

「Web出願（インターネット出願）」を利用（一度でも利用した場合も含む）したことがあるか聞くと、大学進学者の約83.6%の回答者が「利用したことがある」と答えた。例年その割合は増加しており、高校生にとってWEB出願は当たり前のものになりつつあることがわかる。

WEB出願(インターネット出願)を利用したことがあるかどうか(進学先学校別)

■ ある ■ ない

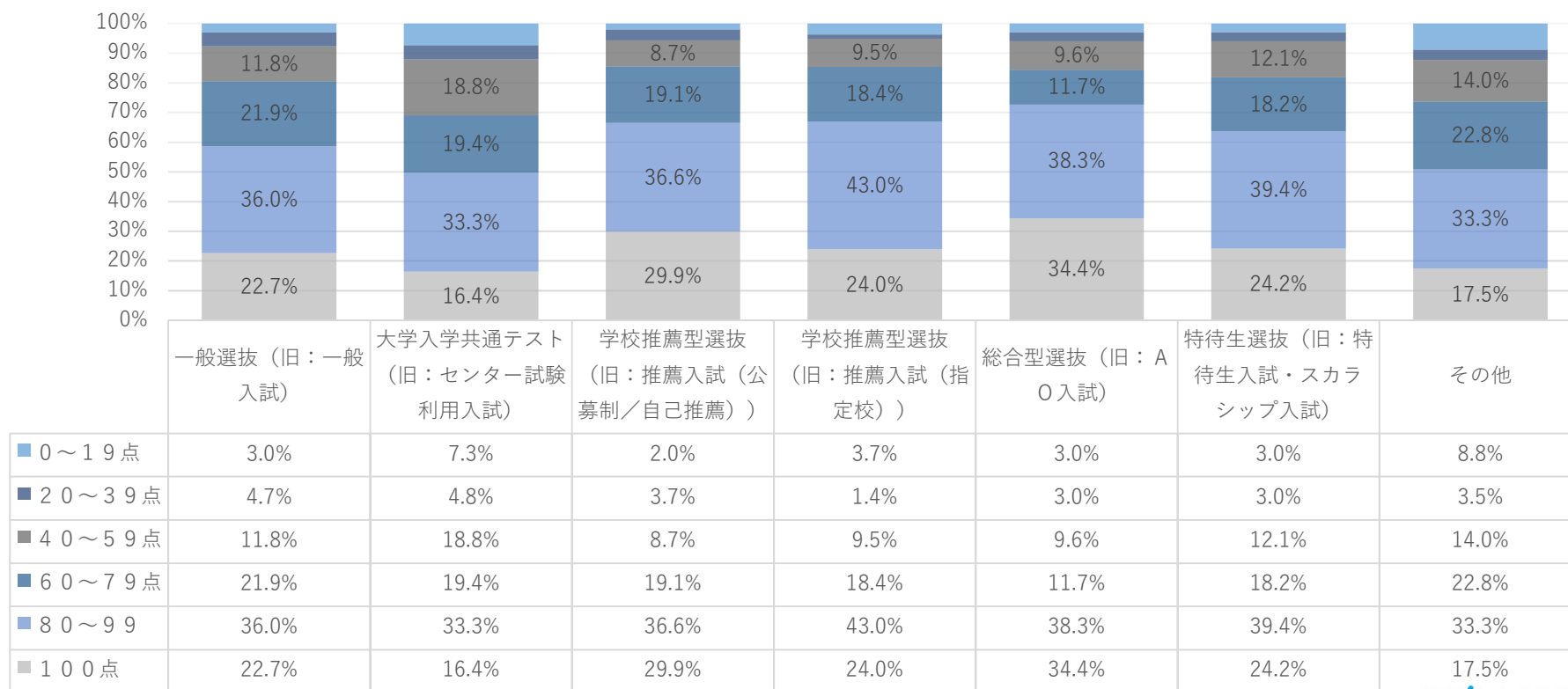


# 進路選択の自己評価について

進路選択を振り返り、満足度（100点満点）について進学先に利用した入試別に集計してみると

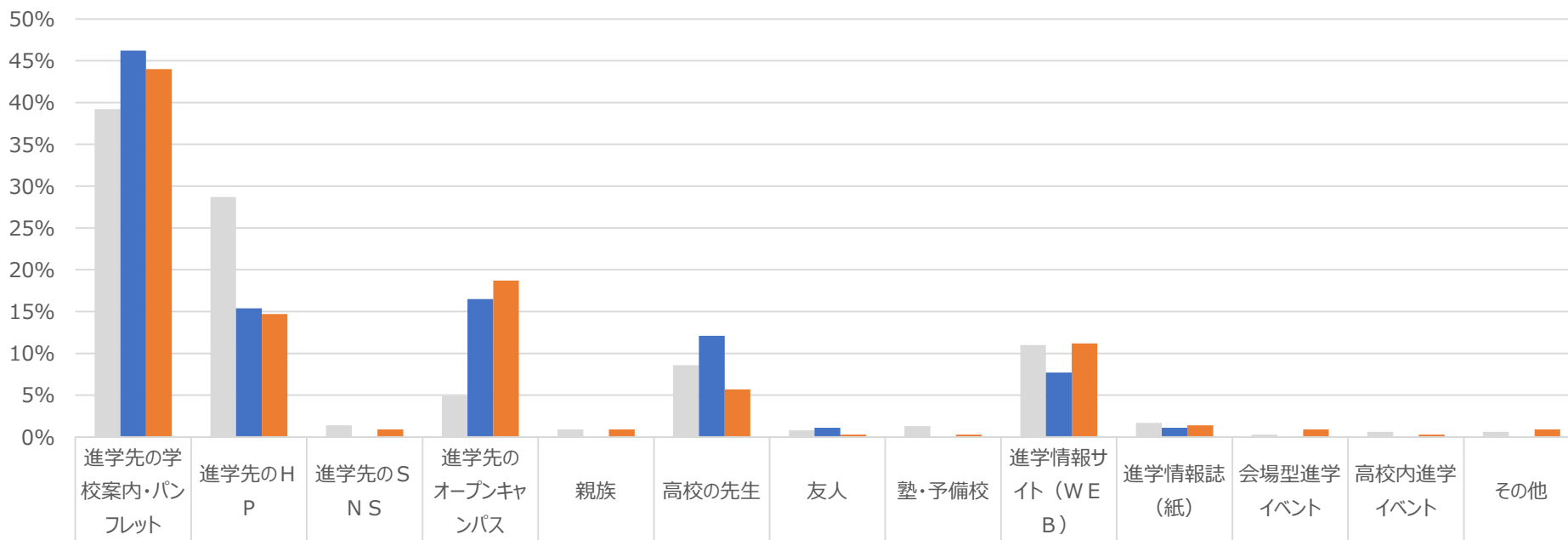
「総合型選抜」を利用した学生の70%以上が、満足度が高い(80点以上)結果となった。続いて満足度が高かったのは「学校推薦型選抜」であった。また、最も満足度の低い結果となったものは「大学入学共通テスト利用型入試」で進学する学生で、80点以上の割合は50.0%であった。

この春の進路選択を振り返り、あなたの進路選択の満足度は、  
100点満点で点数をつけると何点くらいですか？（進学先の入試方法別）



進学先の願書を取り寄せた手段について聞いたところ、進学先の学校の種類に問わず最も割合が高かったのが「進学先の学校案内・パンフレット」であったので、パンフレットを請求していた時に同封されていた願書を使っていることがわかる。特に、専門学校に進学した学生は44%、短期大学に進学した学生は46.2%と高い割合だった。なお、大学に進学した学生の28.7%は進学先のHPから願書を取り寄せたと回答した。短期大学や専門学校に進学した学生の中には、「進学先のオープンキャンパス」を選んだ割合も一定数あった。

進学先の願書を取り寄せた手段



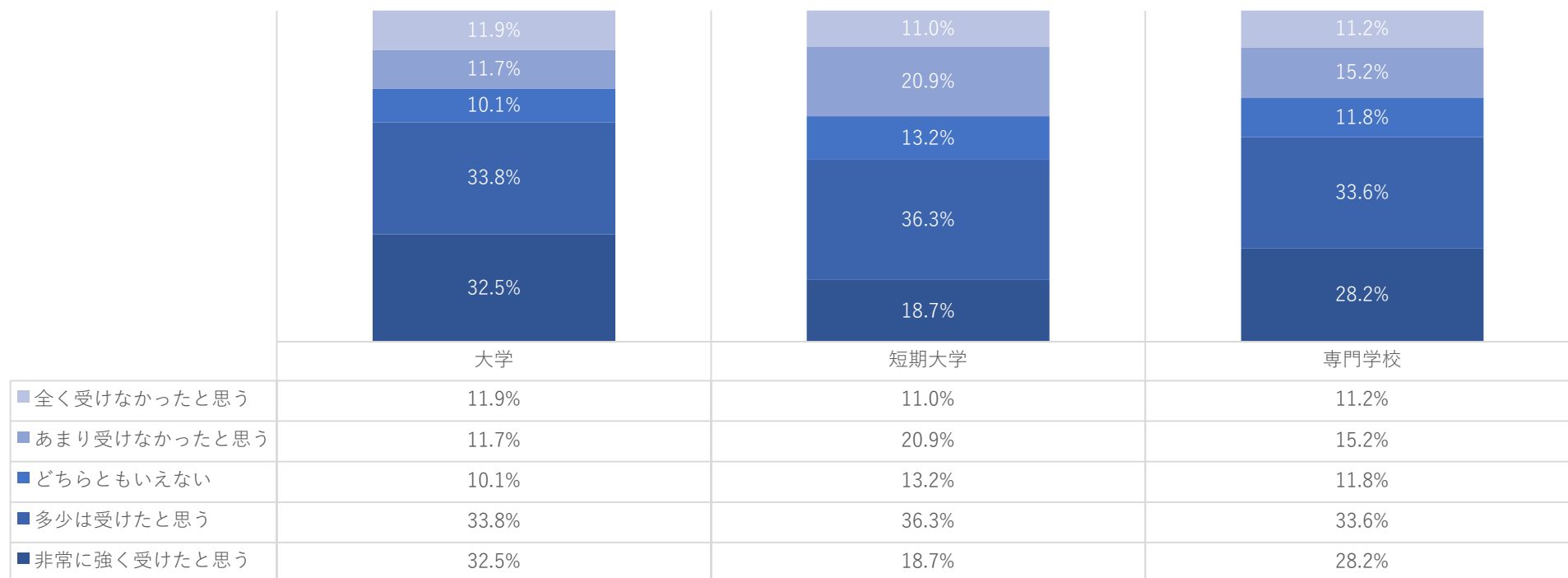
■大学	39.2%	28.7%	1.4%	4.9%	0.9%	8.6%	0.8%	1.3%	11.0%	1.7%	0.3%	0.6%	0.6%
■短期大学	46.2%	15.4%	0	16.5%	0	12.1%	1.1%	0	7.7%	1.1%	0	0	0
■専門学校	44.0%	14.7%	0.9%	18.7%	0.9%	5.7%	0.3%	0.3%	11.2%	1.4%	0.9%	0.3%	0.9%



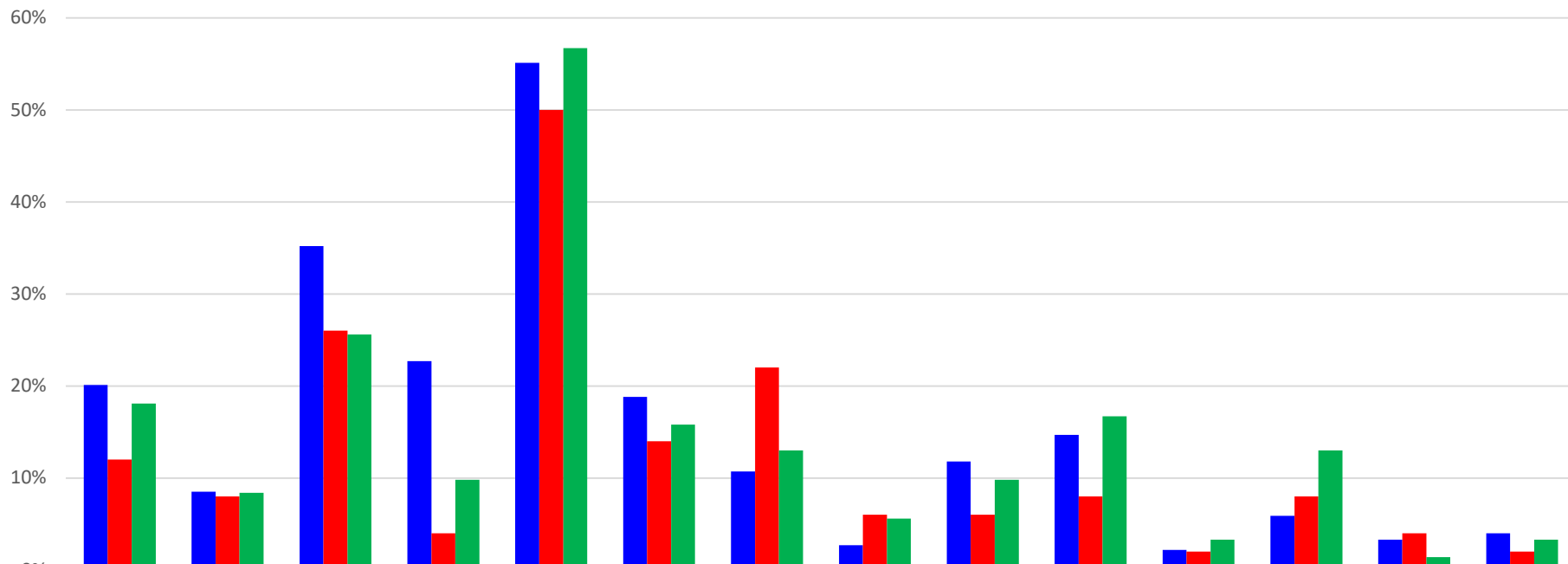
# 進路選択（活動）への影響

進路選択がコロナウイルスの影響を受けたかどうかについて聞いたところ、大学進学者の3分の2、短期大学、専門学校進学者のそれぞれ過半数が「(非常に+多少は)受けたと思う」と回答した。特に高校3年生の夏にオープンキャンパスに参加できなかったこと(次ページ)や、学力(授業の遅れや模試が不十分等)に相当の影響を受けたものと思われる。地元進学志望になったり、短期大学入学者の回答としては「学費等の金銭面が気になるようになった」との回答も高かったりと、学力以外にも影響が出たと感じているようだ。

あなたの進路選択は、ここ1年間に起きたコロナウイルスの流行によって何らかの影響を受けました  
 と思いますか。



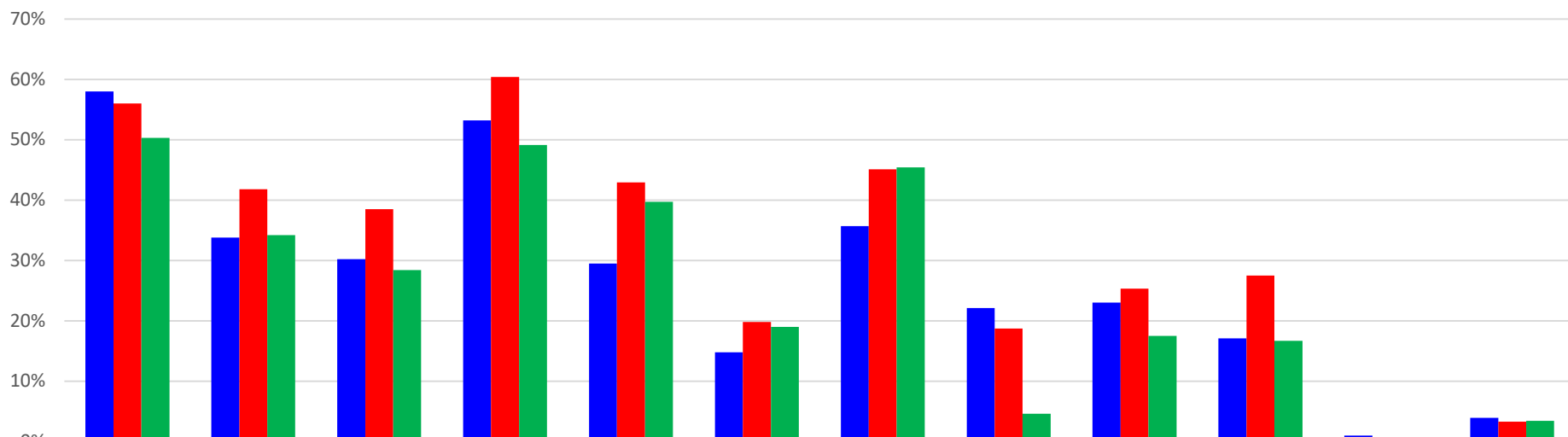
どのような影響を受けたと思いますか。



■ 大学	20.1%	8.5%	35.2%	22.7%	55.1%	18.8%	10.7%	2.7%	11.8%	14.7%	2.2%	5.9%	3.3%	4.0%
■ 短期大学	12.0%	8.0%	26.0%	4.0%	50.0%	14.0%	22.0%	6.0%	6.0%	8.0%	2.0%	8.0%	4.0%	2.0%
■ 専門学校	18.1%	8.4%	25.6%	9.8%	56.7%	15.8%	13.0%	5.6%	9.8%	16.7%	3.3%	13.0%	1.4%	3.3%

4月以降について最も心配していることを進学する学校別に聞いたところ、大学と専門学校では「進学先の学校で、授業が予定通り行われるかどうか」、短期大学では「進学先の学校で友人ができるか」が最も選ばれた。選ばれる割合の高かった項目の多くは学校生活に関するものだが、大学生の3割、短期大学生の4割が学費や生活費の工面に不安を感じていることも明らかになった。

4月以降心配していること(複数選択)



■ 大学	58.0%	33.8%	30.2%	53.2%	29.5%	14.8%	35.7%	22.1%	23.0%	17.1%	1.0%	3.9%
■ 短期大学	56.0%	41.8%	38.5%	60.4%	42.9%	19.8%	45.1%	18.7%	25.3%	27.5%	0	3.3%
■ 専門学校	50.3%	34.2%	28.4%	49.1%	39.7%	19.0%	45.4%	4.6%	17.5%	16.7%	0.6%	3.4%